

第七十五回帝國議會
衆議院

鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第一二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第一三號)
有機合成事業法案(政府提出)(第一三號)

會議

昭和十五年三月五日(火曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君
理事澤田 利吉君 理事篠原 義政君
理事小山田義孝君 理事依光 好秋君
理事川俣 清音君

山本 厚三君

內藤 正剛君

小柳 牧衛君

卯尾田毅太郎君

木暮武太夫君

鶴 惣市君

原口初太郎君

森田 福市君

松本治一郎君

小池 四郎君

坂本宗太郎君

同日委員村松久義君辭任ニ付其ノ補關トシテ高橋壽太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁

內務省土木局長

北海道廳長官

大藏省理財局長

商工省鑛產局長

商工省鐵鋼局長

商工省化學局長

遞信政務次官

武知 勇記君

第六類第六號 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄 第七回 昭和十五年三月五日

電氣廳長官 平井出貞三君

鐵道政務次官 宮澤 裕君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參與官 飯村 五郎君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工技師 足立 泰雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前回ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス、卯尾田毅太郎君

○卯尾田委員 鑛業法、砂鑛法ニ關聯致シマシテ、製鐵國策ニ關シテ企畫院總裁並ニ商工當局ニ御尋致シタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り昭和十二年ノ春、時ノ商相デアリマシタ伍堂氏ニ依リマシテ、製鐵五箇年計畫ヲ樹立セラレマシタガ、事實勃發以來吉野商相ガソレヲ改訂修正セラレマシテ、相當擴大性ノ計畫ヲ實施サレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、更ニ第七十四議會青木企畫院總裁ハ十三年ノ實績ニ依リソレヲ基準トシテ鉄鋼或ハ鋼材、鑛石ノ一定比率ノ擴充案ヲ、即チ生産力擴充計畫ヲ立テラレタコトモ御承知ノ通りデス、僅カ二年間ノ間ニ四回ニ互ツテ製鐵擴充計畫ニ

對シテノ修正ガアリマシタ、今日歐洲第二次大戰ノ結果、更ニ國防計畫ノ擴充ト相俟ツテヨリ以上ノ根本的ナ製鐵擴充計畫ヲ立テラレルノガ至當デモアリ、又本年ノ龐大ナ豫算ヲ圓滑ニ執行スル上ニ絡ミ合セマシテモ、一大改訂、修正ヲサレルノ必要ガアルト存ジマス、政府ハ改訂ニ對シテノ確タル成案ガアルカドウカ御伺致シタイデアリマス

○塩谷政府委員 製鐵國策ノ樹立ガ肝要デアルト云フコトハ只今御話ノ通りデゴザイマス、政府モ企畫院ニ於キマシテ、曩ニ決定シマシタ目標ニ依ツテ、各種ノ施設ヲ行ツテ居ル狀態デゴザイマス、勿論種々資材其ノ他ニ依ツテ制限ヲサレテ居ル狀態デゴザイマスカラ、其ノ時々ノ狀況ニ應ジテ、其ノ實施狀況ハ多少ツツハ違ツテ參ツテ居リマスケレドモ、其ノ目標ハ飽クマデ企畫院ノ作成シマシタ其ノモノヲ目標トシテ堅持シテ居リマス

○卯尾田委員 只今鐵鋼局長カラ御述ベニナリマシタガ、更ニ其ノ趣旨ニ付テ企畫院總裁カラ伺ヒタイト思ヒマス、御留守デアリマシタカラ更ニ申シマスガ、伍堂商相カラ吉野商相ヘ、ソレカラ青木企畫院總裁ヲ經テ、四回ニ互ツテ、製鐵國策ニ對シテ一大修正ガゴザイマシタ、御承知ノ通り十三年度ヲ基準トシテ、鉄鋼何割、鑛石何倍、鋼材何倍ト云フ、アノ數字ニ依ラレル計畫擴充ガ、當然今日ノ事態カラ見テ修正擴大セ

ラレナケレバナラナイト思ヒマスガ、ソレニ付テノ大意ヲ御聽キシタイノデアリマス

○竹內政府委員 途中カラ入リマシテ或ハ御趣意ヲ能ク吞込メナイカト思ヒマスケレドモ、一應御答申上ゲマス、昨年ノ一月ニ重要品目ニ付キマシテ生産擴充計畫ガ四箇年計畫出來テ居リマスコトハ、大體御承知ノコトダト思ヒマス、只今ノ所ドウシテモアノ計畫ノ遂行ニ邁進シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ鐵鑛ニ限リマセ

スガ、日滿支ヲ通ジマシテ資源ノ賦存狀態ヲ能ク檢討致シマシテ、一ツノ經濟「プロット」デ必要ナ重要資源ヲ確保シテ行クト云フコトガ、是ハ今日ドウシテモヤツテ行カナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、唯別ノ機會ニ於テモ申上ゲマシタコトト思ヒマスガ、今年物資其ノ他ノ關係カラ十四年度ノ計畫ニ鐵鋼ガ達シナカッタノハ非常ニ遺憾デゴザイマス、併シナガラ只今御述ニナリマシタヤウニ、此ノ鐵鋼ノ自給自足ト云フモノハ、當初ノ目標ニ出來ルダケ早ク到達スルヤウニ、努力シテ行クト云フ風ニ政府デハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○卯尾田委員 鐵鋼ノ自給自足ハ當然デアリマスガ、遺憾ナガラ現在既定計畫サハ擴充サレテ居ナイ、併シ私達モ鉄鑛ニ付テハ、日滿支ヲ通ジテ自給自足ハ出來ルト考ヘテ居リマス、併シナガラ鋼塊鋼材ニ付テハ相當計畫ヲ立テナケレバ、斷ジテ所期ノ目的ハ達成出來マセス、若シ此ノ鋼材計畫ガ

所期ノ目的ヲ達セヌコトガアリトスルナラバ、是ハ有ユル生産擴充ニ影響シ、國防充實ニモ至大ノ關係ヲ持ツ問題デアリマスカラ、特ニ私達ハ此ノ鋼塊鋼材ニ對シテ關心ヲ持ツト同時ニ、鐵鋼局ニ於カレテモ積極的ニ是ガ達成ニ努力サレナケレバナラナイト思ヒマスガ、其ノ積極的ニ達成スル方途ニ付テ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○竹内政府委員 御承知ノヤウニ鋼材ノ生産ニ必要デアリマスル屑鐵ト云フ問題ガ、鋼材鋼塊ノ自給ト云フコトニ非常ニ關係ガアルダラウト思ヒマス、全ク御述ベニナリマシタ御趣旨モソコニアルト思ヒマスガ、日本ノ現在ノ設備ヲ以テシテハ、急速ニ此ノ實現ガ困難ダト思ヒマス、内外ノ情勢カラ此ノ重要ナ屑鐵ト云フモノヲ、或ル程度デモ兎ニ角海外ニ依存シテ居ルト云フ狀態ハ、一日モ早く逸脱シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、唯之ニハ現在ノ設備ノ改造ト云フ問題ガアリマス、又技術上ノ問題モアルノデアリマシテ、若干ノ困難ハソコニアルト思ヒマスケレドモ、只今ノ方針ハ漸次、而モ一日モ早く屑鐵ヲ使フト云フコトヲ出來ルダケ減少スルコトニ依ツテ、鋼材鋼塊ノ自給ト云フ所ニ進マナケレバナラスト云フノデ、努力シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○卯尾田委員 御話ノ通り、オ互ノ希望ハ其ノ通りデアリマスガ、中々希望ト實現トハ距離ノ遠イモノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ鐵鋼局長カラ何カ具體的ナ方策ナリ方針ガアリマスナラバ御伺致シマス

○塩谷政府委員 大變難カシイ御質問デ、御答ハ致シマスケレドモ、果シテ御満足ニ相成ルカドウカ分リマセスガ、一應申上ゲ

テ見マス、御承知ノ通り、今モ企畫院總裁カラ申上ゲマシタガ、何ト云ツテモ鐵鋼業ノ基礎ヲ安定ニスルト云フコトガ大切デア、所ガ今マデノ狀況ハ屑鐵ノヤウナモノガ外國ニ依存スルト云フ狀況デ、頗ル心細イ狀況ニアル、而モ近頃ノ國際情勢ハ、益々自分ノ國デ使フ鐵位ハ自分ノ國デ何トカシナケレバナラスト云フ所マデ押詰メラレテ居ルヤウナ譯デアリマス、政府モ從來出來ルダケ自給自足ノ方針デ行カウト云ツテ今日マデ進ンデ參ツテ居リマシテ、其ノ方針ニ付テハ少シモ變ツテ居リマセス、ソレナラバ此ノ自給自足ヲドウスルカト云フ具體的ノ問題デアリマスガ、吾々ノ心構ト致シマシテハ、現ニ日本ノ國ガ支配シ得ル所ノ物及ビ支配シ得ル所ノ人ヲ最モ有效ニ使フ、而モ國家的ニ有效ニ利用スル、外ノ言葉デ申シマス、有ユル物ト人トノ限界效用ヲ國家的ニ見テ成ベク高クスルト云フノガ、其ノ心構デアリマス、ソコデ其ノ鐵鋼ノ生産ニソレヲ當嵌メテ見マス、第一ニ我國ノ勢力圈内ニアル原料ヲ出來ルダケ有效ニ利用シヨウ、ソレニハ内地、外地、滿洲、支那等ノ資源ヲ出來ルダケ開發スル、而モ從來ノヤウニ「パーセンテージ」ノ良イ富鐵ダケデナクテ、極メテ「パーセンテージ」ノ低イ貧鐵ヲモ利用シヨウデハナイカ、更ニ兎角鑛石ダケ利用サレケレドモ、鑛石ダケデハイカス、砂鑛ヲモ利用シヨウ、斯ウ云フヤウナ考デ居ルノデアリマス、更ニソレデハ人ノ方ハドウスルカト云フト、是ハ結局頭ノ問題デアリマス、變ナ言ヒ方デアリマスケレドモ、考ヘレバ頭モ一個ノ資源デアリマス、精神活動モ資源ト見テ宜イ、之ヲ最モ有效ニ利用スルト云フコトガ、現下

ノ經濟ニ於キマシテ最モ大事ナコトデアリマス、ソレデドウ云フ風ナ利用ヲスルカト云フト、從來ノ平爐中心ノ製鋼法デナク、之ヲ出來ルダケ鉄鋼一貫法ニ改メテ行ク、サウシテ輸入屑鐵カラ出來ルダケ脱却スルト云フコトガ大事デアリマス、更ニ「パッセ」法、「クルップ」法、或ハ電擊法ト云フヤウナ、新シイ製鐵法ヲ十分研究モシ、之ヲ利用スルコトニ依ツテ、貧鐵ヤ砂鑛ヲモ有效ニ製鍊スル、更ニ一步進メマシテ、從來製鐵業ニ於キマシテ副産物ニ對スル關心ガ比較的薄カツタノデアリマス、ケレドモ高價ナ副産物ヲ造ルト云フコトハ製鐵業ノ安定ノ上ニモ大切ナコトデアリマス、寧ろ鐵ガ副産物デ、「ベンゾール」「トリオール」硫酸其ノ他ノモノガ主産物ダト云フコトニシタラ鐵鋼業ガ安定スルノデハナイカト云フ考ヘ方モアル譯デ、詰リ鐵鋼業ト化學工業トヲ出來ルダケ有利ニ結合スルト云フコトヲ考ヘタラ宜クハナイカ、詰リ一口ニ言ヘバ、技術ノ改善ヲスルト云フコトガ肝腎ダト考ヘマシテ、其ノ意味デ研究モサセ、指導モシテ居ルヤウナ譯デアリマス、大體コシナ風デアリマス

○櫻井委員 鐵鋼局長ニ伺ヒマスガ、「スクラップ」ニ依ラナイ方法デ技術的ニ行ケルノデアリマスガ、又現ニ相當オヤリニナツテ居ルノデアリマスガ、ソコヲモウ少シ明カニシテ戴キタイ

○塩谷政府委員 ソレハ足立技師ガ來テ居ラレマスカラ、足立技師カラ申上ゲマス

○足立說明員 技術上ニ涉リマスカラ、私カラ御答申上ゲマス、只今委員長カラ御注意ガゴザイマシテ「スクラップ」ヲ成ベク使ハナイヤウナ方法ヲ著々實行シテ居ルカ、斯ウ

云フヤウナ趣旨ノ御尋デゴザイマシタガ、御承知ノ如ク、先程卯尾田委員カラ御示シノアリマシタ通り、佐堂商工大臣ノ際ニ、實ハ鐵ノ生産力擴充計畫ヲ一番初メ立テタノデアリマス、其ノ當時ハ只今企畫院等ニ於テ御決定ニナツテ居リマス十五品目ノ生産力擴充ト云フモノハ、マダ出來テ居ラナカツタ時デアリマス、昭和八年カラ九年ノ頃デアリマス、此ノ際ニ實ハ鐵ニ關スル限り規模コソ現在ヨリ小サクアリシタケレドモ、兎ニ角相當ノ規模ノ生産力擴充計畫ヲ立テテ、ソレヲ直チニ實施ニ移シテ來テ居ルノデアリマシテ、實ハ外ノ産業ヨリ一步進ンデ居ルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、其ノ目標ト致シマシタ所ハ、只今御指摘ノアリマシタ「スクラップ」ニ餘リニ頼リ過ギテ居ルデハナイカ、是ハ一朝有事ノ際ニ日本ノ製鐵業ヲ非常ニ不安定ナラシメルモノデアルト云フコトニ、吾々モ十分認識ヲ持ツ居リマシタ關係カラ設備ノ増設ハ勿論デアリマス、設備ノ増設ト同時ニ「スクラップ」ヲ出來ルダケ使用ヲ少クスルト云フ此ノ二ツノ目的ヲ以チマシテ、最初ノ佐堂商工大臣當時、生産力擴充計畫ナルモノヲ立テタノデアリマス、其ノ後數回ノ變更ガゴザイマシタノハ勿論デアリマスガ、其ノ都度規模ガ少シツツ大キクナツテ來タコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、依然トシテ只今ノ二ツノ目的ハ飽クマデ一貫シテ其ノ計畫ニ盛ラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ先程申シマシタ外ノ物資ヨリ實ハ數年先ニヤツテ居リマシタ關係モアリマシテ、或ル程度ノ「スクラップ」ニ依存スルト云フ程度ハ現在或ル程度實ハ改善サレテ居ルノデアリマス、若シソレガ外ノ産業ト同ジヤウニ

生産力擴充が數年後ニ「スタート」ヲ切ツタト致シマスレバ、現在ハモツト恐ルベキ程ノ外國「スクラップ」依存ト云フ狀態ニ相成ツテ居ツタダラウト思ヒマスガ、幸ニシテ只今申シマシヤウナ譯デ、相當ノ實ハ改善ガ出來テ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ從來日本ノ八幡製鐵所位ガ實ハ「スクラップ」ヲ餘リ使ハナクテモ好イ設備ヲ若干持ツテ居ツタニ過ギナカッタノデアリマスガ、ソレデハ如何ニモ外國ニ依存スル程度ガ大キナリマスノデ、各主要ナ製鐵工場ニハソレ「熔鑪」ノ建設等ヲ許可致シマシテ、是ガ最近二三年間ニ相當ノ割合デ火ヲ入レルヤウニ相成ツテ居リマス、隨テ鉄鐵ト屑鐵ノ配合ノ割合ガ數年前ト現在トハ實ハ非常ナ相違ヲ來シテ居ルノデアリマス、現ニ昨年中ニ於キマシテモ吾々ガ鐵ノ生産計畫ヲ毎三箇月毎ニ立テテ居リマスガ、三箇月ヲ經マス度ニ鉄鐵ト屑鐵ノ配合ヲ實ハ變ヘテ居リマス、何時モ屑鐵ノ配合ノ方ヲ極力減ラシテ、鉄鐵ノ配合ヲ多クスルヤウニシテ居リマス、從來日本全體ト致シマシテ鉄鐵ノ配合ハ三割、或ハ「スクラップ」ノ配合ハ七割ト云フヤウナ割合ガ逐次實ハ改善サレテ參ツテ居リマシテ、現在デハ極ク大體ノ所ヲ申シマス、總平均ニ於キマシテ約半々近イ所マデ實ハ改善シテ參ツテ居リマス、此ノ傾向ハ只今企畫院總裁カラ御話ニナリマシタ現在ノ生産力擴充計畫ヲ極力遂行シテ行クコトニ依リマシテ、尙ホ一層改善サレルモノト私共ハ見テ居リマス

○櫻井委員長 卯尾田君、企畫院總裁ニ對スル御質疑ハ終リマシタカ

○卯尾田委員 モウ少シアリマスケレドモ……

○櫻井委員長 オアリニナリマスナラバ、企畫院總裁ノ方ヲ先ニドウゾ……或ハ質疑ノ順序上已ムヲ得ナケレバ御都合デ宜シウゴザイマスガ……

○卯尾田委員 只今技術上ノ問題ニ付キマシテ拜承致シマシタガ、逐次「スクラップ」ヲ減少セシムル方法ニ付テノ御研究ナリ、御指導ハ相當敬意ヲ持ツテ私共見テ居リマス、併シ實際問題ト致シマシテハ、中々サウ鋼材、銅塊ヲ必要ナ程度ニハ充サレマセヌ、御承知ノ通り亞米利加ニ於キマシテハ從來四千數百萬噸ノ鋼材鉄鐵ヲ製造シテ居リマシタガ、一時非常ニ減少シマシタ、併シナガラ昨今ノ歐羅巴ノ事情ノ變化ガ自然亞米利加ノ製鐵ヲ要求シ、遂ニ昨今ハ九〇%近クマデ其ノ能率ヲ進メツツアリマス、總テ全「フル」ニナルコト信ジマス、獨リ通商航海條約ノ廢棄ノミガ吾々ノ「スクラップ」ヲ脅威セシムルモノデハナイト思ヒマス、即チ國際情勢ノ變化ガ當然亞米利加自體ニ於キマシテモ「スクラップ」ノ需要ヲ多カラシメルコトト信ズルノデアリマス、茲ニ私達ハ一層鉄鋼一貫作業ノ必要ガアリ、之ニ依ル製鐵獎勵ノ必要ヲ認メルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ、電氣廳ニモ關係ヲ持ツ問題デアリマスガ、資材ノ點ハ先程安達サシカラ御話ニナツタヤウニ電氣ノ方法モ有力ナ一ツノ鉄鋼一貫作業ヲ助長擴大セシメ得ル一ツノ方法ダト思ヒマス、サウ云フ關係ニ付キマシテハ、相當電力方面ニ付テ資材ノ必要ガアリマスガ、今朝偶、新聞ヲ見マシテ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、通信大臣ハ昨日貴族院ニ於ケル答辯ノ中デ、十五年度ニ於ケル發電計畫ノ中ニ、上半期ニ付テハ確信ヲ持タルガ下半期ニ付テハ甚ダ

心計ナイト云フコトデアリマス、勿論其ノ資材ト云フコトハ明瞭デアリマセヌ、銅モアリマセウ、「セメント」モアリマセウ、併シナガラ鐵資材モ相當其ノ必要ナ一ツダト思ヒマス、今日電氣ガ石炭ト同様ニ有ユル産業ノ基礎ニナツテ居ルバカリデナシニ、ソレ自身ガ今日不足ヲシテ居ツテ、各方面ニ翕然トシテ非難ノ聲ガ揚ツテ居ル矢先ニ、サウ云フ發電計畫ニ對シテマデ資材ガ懸念サレルヤウデアリマス、是ハ全體ノ産業ニ及ボス影響、勿論擴充計畫ト物動計畫トガ相一貫不可分性ヲ持ツコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、サウ云フ點ニ付テドウ云フ資材配給ニ對スル御考ガアリマスカ、企畫院總裁ヨリ承リタイト思ヒマス

○竹内政府委員 産業ガ段々發達スレバ勿論ノコトデアリマスシ、又生産擴充計畫ヲ計畫通り遂行シテ參リマス爲ニモ電氣ノ需要ト云フモノハ年々殖エテ行クダラウト思フノデゴザイマス、ソレデ御承知ノ通り生産擴充計畫品目ノ中ニ發電設備ト云フモノモヤハリ採上ゲラレテ居ルノデアリマシテ、十四年ノ實績モ十三年ト比ベマスト、相當ニ設備ガ殖エテ居ルノデアリマス、唯今年ハ豫期シナイ色々ナ故障ガアリマシタ爲ニ、實際ノ發電ガ減ツタノデアリマスケレドモ、設備トシテハ十四年ニモ相當増加致シテ居リマス、ソレデ十五年以降ニ於キマシテモ、此ノ考ヘ方ハ決シテ變ラナイノデアリマシテ、唯十五年以降ニ於キマシテハ、石炭其ノ他基礎的ナ物資ニ重點ヲ置イテ行クト云フコトモ、是レ亦已ムヲ得ナイコトデアリマス、然ラバ石炭其ノ他ドウ云フモノニ重點主義ヲ置クカト云フコトニナルノデアリマスガ、私共ハ只今ノ考デハ發電モ殆ド

同様ニ基礎的ノモノト考ヘテ居リマス

○卯尾田委員 勿論電氣、石炭、鐵ト云フモノハ總テノ産業ノ基礎産業デアリマスカラ、當然最優先位ニ置カナケレバナラス、隨テ最優先位ニ置ク爲ニハ有ユル物資ヲソレ等ニ配給セシメテ圓滑ナ作業ヲセシムルコトガ擴充計畫ヲ圓滑ナラシメ助長セシメ、ソレガ一貫シタ物動計畫ヲ萬全ナラシメルコトダト信ジマス、殊ニ企畫院總裁ニ對シテ、急イデ居ラレマスカラ、私ハ最後ニ結論の希望ヲ申上ゲマスガ、一體鐵ハ石炭ト密接ナ關係ガアリマス、先程安達サシカラモ御述ベニナツタ通り、平爐脫酸法其他電擊法等ニ依ツテ鉄鋼一貫政策ヲ完成セシメ、ソレガ「スクラップ」カラ脱却セシメテ日本ノ物資ヲ自給自足ニ運バセル一ツノ大キイ途ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタガ、サウスルコトハ今日當然ダト思ヒマス、ソレニ付キマシテモ先ヅ屑鐵ヲ少クシテ、鉄鋼一貫ノ方途ニ進ムニハ、石炭ノ中ノ強粘結炭即チ良イ石炭デナイト「コークス」ガ能ク取レナイノデス、隨テサウ云フ方面ノ石炭ノ需要ハ相當考ヘナケレバナナイコトデアリマス、増産ヲ必要トスルト云フコトデアリマス、又數字ヲ申上ゲルコトハ此ノ際努メテ避ケマスルケレドモ、一體鐵石ハソレ相當ニ交通運輸政策ヲ全ウシナケレバ、石炭ト共ニ日本ニハ輸入、移入ガ出來マセヌ、先ヅ製鐵政策ノ擴充、石炭政策ヲ擴充スル爲ニハ、少クトモ交通運輸政策ヲ擴充シナケレバナリマセヌ、サウ云フ見地ニ立ツテ、相關聯シタ政策ガ共ニ順調ニ進マナケレバ、勿論重點主義ト稱シテ居ラレドモ、中々ソレノ達成ハ出來ナイコトガ多クアリマス、甚ダ

不吉ナ例デアリマスルケレドモ、昨年アタリハ必ズシモ豫期シタヤウニ支那滿洲方面カラ石炭モ來テ居ラナケレバ、「スクラップ」モ來テ居リマセヌ、又國內ニ於キマシテモ一時ハ「スクラップ」ハ八十六圓位デアリマシタガ、亞米利加カラ輸入スルト百六十何圓ト云フコトニナリマス、是モ値段段ノ高ク出シテ探レルモノナラバ宜イケレドモ、ソレカト云ツテ先程申シマシタヤウニ容易ニ得ラレナイ狀態デアリマス、サウ云フ各般ノ事情ヲ能ク綜合セラレマシテ、物動計畫ニ遺憾ナキコトヲ期セラレナケレバ、一貫シタ基礎産業ニサヘ狂ヒガ生ズルノデアリマス、其ノ氣持ヲ能ク御諒承ノ上、物動計畫ヲ立テラレタイト希望ヲ申上ゲマス、企業畫院總裁ハオ急ギヤウデスカラ、質問ヲ留保致シマシテ、最後ノ結論ノ希望ダケ申上ゲマシタ

○竹内政府委員 只今御述ベニナリマシタ御注意ハ、私共全然同様ニ考ヘテ居リマス、綜合的ニ、又計畫的ニ、合理的ニ之ヲ實行致シマセスト、跋ニナリマシテハ目的ヲ達シナイノデアリマス、御趣意ノアル所ハ十分諒承致シマシタ、唯今御述ベニナリマシタ中デ、支那カラ屑鐵ト石炭ガ計畫通り來テ居ラナイト云フコトデゴザイマシタケレドモ、是ハ數字ハ申上ゲラレマセヌガ、私責任ヲ以テ申上ゲマス、支那カラ屑鐵ト石炭ハ殆ド十四年ニ於ケル計畫ノ通り參ル見込デゴザイマス、モウ既ニ計畫以上ニ來テ居ルモノモゴザイマス、此ノ點ハ御安心ヲ願フ爲ニ一寸附加ヘテ置キマス

○櫻井委員長 卯尾田君、電氣廳長官ハ今本會議カラ呼ビニ參ツテ居リマスカラ、電氣廳長官ニ對スル御質疑ヲ先ニドウ

○卯尾田委員 電氣審議會等デ五箇年計畫ノ自然需要量、或ハソレニ關聯シテ物資資料ノ見透シガ付カナケレバ、先程申上ゲマシタヤウニ、各般ノ事業ニ至大ノ關係ヲ持ツモノデアリマス、其ノ見透ニ付テ電氣廳長官ニ御尋シテ置キタイノデアリマス

○平井出政府委員 將來ニ於ケル電氣需要ノ見透シハ、主トシテドノ方面ヲ本ニシテ立デマシタカト申シマス、勿論主ナ現在以後ニ於ケル新シイ需要ハ、生産擴充用ノ爲ノ電力デアリマス、是ノ電力ヲ如何ニ想定スルカト申シマス、ソレハ商工省、農林省、或ハ陸海軍、企業關係各方面カラ、生産擴充用ノ電力ガ幾ラ要ルカト云フ調査ヲ取リマシテ、ソレヲ綜合査定致シマシテ作ツタモノデアリマス、其ノ需要ノ想定自體ノ計數ハ今此處デハ申上ゲラレマセヌガ、其ノ想定自體ニ付キマシテハ、十分ノ確信ヲ持ツテ居リマス、問題ハ其ノ想定サレタル需要電力ヲ十分ニ供給シ得ル建設ヲ進メ得ルカドウカト云フ點ガ、非常ニ大キナ問題デアリマス、之ニ付キマシテハ、先程企業畫院總裁ヨリモ御話ノアリマシタ通り、又既ニ本會議或ハ豫算總會等ニ於テ關係大臣ヨリモ説明ノアリマシタ通り、所謂重點主義ニ依リマシテ、此ノ資料ノ確保ニ努メヨウト云フコトヲ言ツテ居リマス、唯私共トシマシテモ、需要電力ヲ「フルニ」、一ツモ制限セズニ供給シナケレバナラヌモノトハ考ヘテ居リマセヌ、兎ニ角國民生活ナリ産業ニ重要ナルモノデアリマスガ、此ノ際忍ビ得ルモノハ忍シテ行カナケレバナラヌト云フ考ヲ持ツテ居リマス、普通ノ家庭用デアルトカ、或ハ裝飾用トカ、或ハ奢侈用トカ、

或ハ産業上ニ於テモ、此ノ程度ハ生産量ニ影響ナシニ節約シ得ルモノ、サウ云フモノヲ査定シマシタ、サウ云フモノニ對シテハ、引續イテ制限ヲヤツテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、苟クモ國民生活ノ上ニ、或ハ生産擴充ノ上ニ支障ノアルヤウナコトガアツテハナラヌト思ヒマシテ、十分吾々トシマシテモ資料ノ確保ニ努メタイト思ツテ居リマス

○卯尾田委員 只今長官カラ御意見ヲ拜聽致シマシタガ、勿論全國民ノ自然増加量ノ需要ヲ充タスマデハ遠イコトダト思ヒマス、私達モ斯ウ云フ時節柄、サウ云フコトハ決シテ望ンデ居リマセヌ、唯生産擴充ニ於キマシテモ、過般來各方面ノ速記見タリ、或ハ意見ヲ聽イタリシマシタガ、此ノ方面ニハ優先的ニヤル——曰ク肥料、曰ク鐵鋼ニ曰ク生活確保ニ優先的ニヤラナイカト云フ質問ニ對シテハ、之ニハ優先的ニ配給スル、之ニモ優先的ニ配給スルト云フコトデ、生産擴充全部ニ對シテ均等セシムル結果、却テ重點主義ニナラナイモノダト思ヒマス、斯ウ云フ意味カラ見レバ、基礎産業、國防ニ重大密接ナ關聯ノアル事業ニ對シテハ、特ニ重點ノ中ニ更ニ重點ヲ定メナケレバナラヌモノダト思ヒマス、先程ノ計畫ハ自然増加量ハ審議會等ニ於ケル計畫ハ、決シテ不滿トハ考ヘラレヌケレドモ、現實ニ資料獲得等ニ對シテハ多少ノ不安モアル、斯ウ云フヤウニ拜承シマシタガ確ニ不安ダト思ヒマス私一例ヲ申シマス、富山縣ニ豫テ電氣廳ノ計畫ノ下ニ電氣廳ノ許可ヲ得テ、目下建設中ノ和田川ノ水力發電ト云フモノガアリマス、ソレハ六萬六千「キロ」バカリ發電スルノデアリマス、過般クロナキ、柳マタ、

是レハ條件附キデ約四萬二千「キロ」ガ許可ニナリマシテ、是ハ昭和十七年ニ完成シナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ關係ノアル電氣ハ、今日石炭ガ足りナイコトニ依ツテ起ツタ電氣ノ缺乏ヲ痛切ニ補フ發電計畫ダト思ヒマス、色々政府ノ方ニ於キマシテ發電計畫ガアリマスルケレドモ、アア云フ貯水池式即チ、堰堤ニ依ル計畫ハ、確ニ火力發電ノ效用ヲ爲ス電氣ダト思ヒマス、サウ云フモノハ一面ニ電力量ヲ増加セシムルコトニ依ツテ渴水ヲ補ヒ普遍的ニ、配電ガ出來マス以外ニ、火力發電ノ石炭缺乏モ補フヤウナ電氣デアルト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ發電ハ重點的ニ、ヤハリ優先的ニ鐵材ヲ配給シタリ、「セメント」ヲ配給シタリ、其ノ他ノ資料ヲ配給スル、ソシテ一日早く開發セラレタル電力ヲ先程申上ゲマシタヤウニ、優先的ニ基礎産業ノ方ニ向ハセルコトガ今日相應シイノデハナイカ、現在富山縣ニハ五十四萬「キロ」位ノ電力ガ起ツテ居リマス、其ノ中三十萬「キロ」ハ縣外ニ出テ居リ即チ送電線ニヨリ其ノ送電ノ「ロス」所謂送電損失ハ一割五分位デアリマス、送電線修繕費、利子或ハ建設費、サウ云フモノヲ加算致シマス、少クトモ二割五分ノ損失ニナリマス、今日電力管理法ノ使命ニ依ツテ適地適所ニ發電所ヲ起シ、生産擴充、或ハ國防計畫充實ニ關聯ヲ持ツ地元ノ有力ナ工場ニ對シテ配電ヲスルト云フガ、少クトモ一割五分或ハ二割五分ノ差損ヲ無クスル合理的配電ダト思フ、サウ云フ立場カラ電力ノ開發ハ一日モ早く促進セシメ合理的ニ重點的ニ其ノ地方ニ配電シナケレバナラヌト云フガサウ云フ點ニ付テ御意見ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○平井出政府委員 洵ニ御尤モナコトデアリ

マシテ、吾々發送電會社ヲ立テルニ付キマシテモ、單ニ各地方ノ需要ヲ其ノ儘ニ認メテソレニ應ズル發電所ヲ造ルト云フコトデナシニ、更ニ進ンデ豫メ工場立地ニ付キマシテ、成ベク電源ノ近イ所ニ、例ヘバ重工業電氣化學工業ノ如キモノハ、其ノ工場ヲ造ル前カラ豫メ一定ノ量以上ノ電氣ヲ使用スルモノハ事業ヲ始めル前ニ今日デハ電氣廳ニ出願スルコトニナツテ居リマスガ、斯様ナ際ニ特ニ電氣ヲ澤山使ヒマス重工業電氣化學工業等ニ付テハ、常ニ電源地ニ近ク工場ヲ立テルヤウニト云フコトヲ勸誘シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又發電所ヲ造ルニシマシテモ、サウ云フ資材ノ方面カラ見テ重點主義、即チ出來ルダケ資材ガ少クテ、而モ發電力ガ多イト云フヤウナ地點ニ重點ヲ置イテ考ヘテ居リマスシ、同時ニ所謂工場立地ノ見地カラ成ベク電源ニ近イ所ニ其ノ電氣ヲ使フ工場ヲ立テサセルヤウニ勸メテヤツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○卯尾田委員 平井出長官ハオ急ギノヤウデアリマスカラ、長イ問答ヨリモ結論ヲ申

上デマシテ私ノ質問ハ終了シテ置キマス、御話ノ通り工場立地或ハ工場基地ト相關聯シテ電力ノ節約ガ出來ルコトガ、豫テ商工省デ考ヘテ居ラレル所謂産業分散化、工場ノ分散化、文化ノ分散化、國防ノ分散化ト云フ大キナ國策ニモ相關聯スルコトダト私達ハ信ジマス、小サイナガラモ富山縣ニハ將來百萬「キロ」ノ電氣ガ起ルコトニナツテ居リマス、現實ニ五十四萬「キロ」、昭和十九年マデニハ約三十萬「キロ」ノ電氣ヲ起ス豫定デアリマス、更ニ計畫中ノモノサウ云フコトヲ合セマス、百萬「キロ」若クハ百

十萬「キロ」近ク發電シ得ラレルト信ジマス、御承知ノ通り京阪地方ニ於テハ僅ニ八十萬「キロ」ノ電力ヲ使フコトデサヘ東洋ノ「マシチエスター」京濱ニ於テ八十萬「キロ」使フコトガ如何ニモ京濱ノ繁榮ヲナサシメテ居リマス、故ニ更ニ地方デ起ツタ電力ヲ其ノ地方ニ消費セシムルコトガ各損失其ノ他デ二割五分ノ利益ガアルコトデアリマスカラ、縣外ニ出テ居ルモノヲ縣内ニ呼ビ戻スコトガ結局管理法ノ使命デモ有リ國家的見知ヨリ良イコトデアリ考慮ヲ要スルコトデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ先程申上デマシタヤウニ、製鐵トカ國防産業ニ關係ノアル事業トカ、或ハ化學工業トカ、サウ云フモノニ重點ヲ置キ、一面ニ於テハ地方産業ニ裨益シ産業ノ分散化ヲ實現セシメ一面ニ於テ國防ノ分散化、文化ノ分散化ト云フコトモ速進セシメ、日本人全體ヲ幸福ノ均霑ニ導キタイト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、電氣廳長官ニ對スル質問ハ私是デ打ちリマス

○櫻井委員 一寸卯尾田君ニ御諒承願ヒ

タイノデス、企畫院總裁ノ居ラレル間ニ川崎君カラ牽聯質問ヲ致シタイト云フコトデスガ、宜シウゴザイマセウカ

○卯尾田委員 ドウゾ……

○櫻井委員 一寸極メテ簡單ニ伺ヒタイ、

物動計畫ノ中ニ加ヘラレテ居ル亞米利加ノ屑鐵ヲ日本ニ輸入スル有様デアリマスガ、數量ニ互ツテ御答辯ヲ得ルコトハ公開ノ會議デハ御遠慮申シマスガ、唯昭和十三年度ノ日本ニ對スル輸入量ト昭和十四年度ノ輸入量トハ同ジ位ニ行キマシタラウカ、ソレ

トモ十四年度ノ方ガ劣ツテ居ルカ、ソレハ少シノ劣リデセウカ、餘程減リマシタデセウカ、其ノ標準ダケヲ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 御答ヲ申上ゲタイノデゴ

ザイマスガ、若シ御尋ノ意味ガ少ケレバ御心配ダト云フ意味デアリマスレバ、チツトモ御心配下サイマセヌデモ宜シウゴザイマス、少シ附加ヘテ置キマスガ、是ハ十三年度ト十四年度ヲ較ベテノコトデアリマス

○川崎委員 減ツテ居リマスカ

○竹内政府委員 減ルコトニ付テノ御心配

デゴザイマスナラバ、十四年度ノ實績ハ御心配下サル必要ハナイト思ヒマス

○篠原委員 鐵鋼局長ガオ居デニナリマス

カラ伺ヒタイ、鐵ノ増産ノコトデアリマスガ、昨年ノ八月一日ニ省令ヲ御出シニナツテオヤリニナツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ結果ハ大キナ事業家ニハ利益ヲ御圖リニナツテ、小サイ方ハ却テ制限ヲサレルヤウナ結果ニ相成ルヤウニ思ヒマス、鐵増産ト云フコトカラ言ヒマスレバ、小サイ方ノ事業家モ仕事ガ出來ルヤウニ御取計ヒ願フ方ガ宜カラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テ伺ヒ

○逄谷政府委員 只今ノハ昨年ノ八月ト申

シ、折角原料ヲ供給シテヤツテモ、技術其ノ他ノ不足ノ爲ニ所期ノ效果ヲ收メ得ナイト云フ不安ガアルノデアリマス、ソコデ私共トシマシテハ、大設備ハ製鐵事業法ニ依ツテ許可スルコト云フコトニナツテ居リマスガ、資材設備ハ從來ハ放任狀況デアツタヤウナ始末デアリマス、所ガ之ヲ放任シテ置キマス、此ノ時局ニ際シマシテ比較的儲カル——實際儲カツテ居ルカドウカ分リマセヌガ、儲カルト云フヤウナ風ガ各方面ニ見エマスノデ、小サナ電氣爐ノヤウナモノヲ据付ケマシテ、仕事ヲ始めルト云フヤウナコトガ頻々トシテ起ツテ參ツタノデアリマス、小サナ電氣爐ヲ中心トシテノ設備ガ非常ニ多クナツテ參ツテ居リマス、ソコデ其ノ電氣爐ガ非常ニ澤山ニナリマス、電氣爐ハ大體ニ於テ屑鐵ヲ以テ製鋼スルノガ目標デアリマスノデ、屑鐵ヲ益、食フト云フヤウナ結果ニナツテ來タ譯デアリマス、ソコデ其ノ限度ノアル屑鐵ノ供給量ニ對應スル爲ニ、ドウシテモ設備ヲ一面ニ於テ制限シナケレバナラス、屑鐵ガ今マデノ自由ナ時代ノヤウニ金サヘ出セバ多分貰ヘルダラウト云フヤウナ期待ノ下ニ減茶苦茶ニ仕事ヲ始めマシテ、其ノ結果案外屑鐵ガ手ニ入ラナイ爲ニ、事業ノ基礎ガ危クナルト云フコトモ面白クアリマセヌカラ、ソコデ製鐵設備ノ制限規則ト云フモノヲ出シマシテ、業者ノ爲ニモ苟クモ許可ヲ得サヘスレバ、ソレニ依ツテ屑鐵ノ供給ガ確保サレルヤウニシテ居リマス、許可ヲ得ナケレバ確保サレナイ、仕事ヲスルナラバ一應其ノ挨拶ヲシテ仕事ヲ始めテ貰ヒタイト云フノデアリマス、ソレノ方ガ業者ノ爲ニモナルシ、同時ニ國家トシテ屑鐵ガ非常ニ不足

ナ時代ニ此ノ屑鐵ヲ最モ有效ニ使フト云フ
兩方ノ目的ヲ達スル爲ニ作ツタノデアリマ
シテ、決シテ事業ヲ抑壓スルト云フノガ中
心デハナイノデアリマス

○卯尾田委員 先程電力其ノ他ノ問題ニ付
テ御話ガアリマシタガ、要ハ「スクラップ」
依存ニ依ツテ近時日ニ鋼材鋼塊ヲ充足スル
コトハ出來ナイ、今日先程申上ゲタヤウナ
平爐ヲ改造スルトカ、或ハ他ノ方法ニ依ツ
テ逐次大量ノモノガ出ルコトハ確カデアリ
マス、併シソレノミニ依存シテ居ラレナイ
時期ダト申シタイノデアリマス、先程申シ
マシタガ從來「スクラップ」ニ依存シテ居ル
ガ、亞米利加ノ事情ニ依ツテ此ノ「スクラッ
プ」ガ來ナクナツテモヤルベキ覺悟ヲ決メ
ナケレバナラス、
「スクラップ」ガ來ナイ時ニ、
一塊ノ鋼塊ニモ一條ノ鋼材ニモ吾々ハ慌テ
ナケレバナラス事情ニ到達スルノデアリマ
ス、サウ云フコトカラ今日清津方面ニ三菱
ガ「ルッペイ」ニ依ツテ鉄鋼一貫作業ヲヤツ
テ居リマス、又日本鋼管ガ「トーマス」ノ轉爐
ニ依ツテ一貫作業ヲヤツテ居リマス、サウ
云フコトモ大量ニ出來得ルナラバ、助長ノ一
ツダト思ヒマス、又電擊竝ニ電氣爐ニ依ル
高周波ノヤウナモノモ電力サヘ供給スレバ
大擴充ガ出來ルト存ジマス、サウ云フヤウ
ナ關係カラ私達ハ「ルッペイ」ヤ「トーマス」
ノ轉爐ニ付テノ何カ擴充ノ計畫ガアルカド
ウカラ伺ツテ置キマス

○足立説明員 私カラ御答申上ゲマス、先
程私ノ御説明致シマシタコトハ言葉ガ足り
マセヌデ、鉄鋼一貫作業ダケデ改善シテ行
クト云フヤウニ響イタカト存ジマスガ、ヤ
ハリ是ハ一ツソノ方法デアツテ、其ノ他ニ只
今御指摘ノ如キ電擊法ナリ「ルッペイ」ノ方法

ナリ「セメント」ノ回轉爐ヲ使フ「バッセー」
ノ方法ニ付テハ、實ハ私共ノ方デモ前カラ
目ヲ著ケテ居リマシテ、出來レバ之ヲ實行
ニ移シテ行ケバ「スクラップ」ノ代用品ガ之
ニ依ツテ相當出來ルト云フコトヲ見込シテ
居ルノデアリマス、勿論企業院デ只今出來
テ居リマス生産力擴充計畫ニ於キマシテモ、
「クルップ」ノ只今御指摘ノ「ルッペイ」ノ方法
ナドモ擴充計畫ノ中ニ取入レテ居リマス、
ソレカラ「バッセー」ノ方法モ勿論取入レテ
居リマス、唯遺憾ナガラ現在作業ガ漸ク始
マリマシタバカリデ、現在ニ於テハ之ニ依
ツテ大量生産ノ實ヲ上ゲテ居ル所マデハ行
ツテ居リマセヌ、是ハ今後ノ研究ニ依ツテ
相當ノ成果ヲ收メルノデハナイカト云フヤ
ウニ吾々ハ見テ居リマス、又日本鋼管ノ「ト
ーマス」法ハ私が最初申上ゲマシタヤウナ
鉄鋼一貫作業ノ一ツソノ方法デアリマシテ、
「スクラップ」ヲ殆ド使ハナクテ鋼ガ出來ル
ト云フノデアリマスカラ、是ハ吾々トシテ
モ非常ニ面白イ方法ト思ツテ居リマス、唯
遺憾ナガラ此ノ方法ハ、御承知ト思ヒマス
ガ、鑛石ノ品位ト申シマスカ、成分ニ支配
サレル點ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ
シテ遺憾ナガラ日本ノ勢力圈内ニアル
鐵鑛石ノ共通ノ性質トシテ鉄鐵ノ中ニ入リ
マス燐分ノ量如何ト云フ問題カラ檢討シテ
見マス、ト「トーマス」ノ方法ニ依ツテ造
ルニハ甚ダ不當ナ鋼ガ出來ル、サウカト
云ツテ「トーマス」ノ反對ノ方法モアリマ
スガ、其ノ方法ニモ不當デ、燐ノ含有量
ガ何レノ方法ニ依リマシテモ適當デナイト
云フヤウナ鑛石ノ共通ノ性質ヲ持ツテ居ル
ノガ日本ノ支配シテ居ル鑛石ノ現狀デアリ
マス、全面的ニ是ダケニ依ツテ日本ノ製鐵

ヲ全部「トーマス」デヤツテ行クト云フコト
ハ出來ナイト思ヒマスガ、或ル程度之ヲ更
ニ擴張シテ行クトハ考ヘラレルノデアリ
マスガ、現在日本鋼管デヤツテ居ルノモ、
只今ノ鑛石ノ缺點ヲ補フ爲ニ、普通ナラ
バ入レナクテモ宜イ燐鑛石ヲ態々配合シ
テ入レテ、或ル程度燐分ヲ高メテ「トーマ
ス」デヤツテ居ルト云フ風デ、實ハ變則的
ナ「トーマス」デ、之ヲ日本ニ全面的ニ及
ボスト云フコトハ相當ナ困難ガアルダラウ
ト思ツテ居リマス、又技術上ニ互リマスガ、
是カラ出來ル鋼ガ總テノ鋼ニ向クト云フ譯
ニハ遺憾ナガラ行カナイノデアリマス、極
ク「コンマーシャル」ナモノニ對シテハ宜シ
イノデアリマスガ、一寸規格ヲ付ケラレル
場合、例ヘバ造船ノ板ヲ造ルト云ツタヤウ
ナ規格ヲ作ルト、「トーマス」デヤツタモノ
ハ一寸合格シナイ、適當ナ方法デナイト云
フヤウナ缺點モ實ハアルノデアリマシテ、
全面的ニ是ダケデ行クト云フコトハ一寸困
難ガアルト思ヒマスガ、或ル程度ハ斯ウ云
ツタモノデ御説ノ如ク「スクラップ」ノ足リ
ナイ所ヲ補フコトヲ考ヘナケレバナラスコ
トハ吾々モ十分考ヘテ居リマス

○卯尾田委員 只今御話ヲ聽キマシテ、有
ユル方法デ鋼塊、鋼材ヲ用意シナケレバ、將
來ノ國防ノ上カラ見テモ、生産力擴充ノ上
カラ見テモ不圓滑ナコトニナリ、ソレガ一
丸トナツテ全體ノ生産擴充ニ及ボス或ハ物
動計畫ニ反映スルト云フ結果ニナリマスバ
カリデナク民需ノ不滿ガ爆發致シマスカラ、其
ノ點ハ努メテ當局ニ於カレマシテ電力ヤ資材
アラユル角度カラ助長獎勵シテ戴キタイト
思ヒマス、次ニ鑛山局長ニ砂鐵ノ件ニ付テ御
尋致シマス、元來砂鐵ハ埋藏量ガ判明シマ

セヌ、古イ商工省ノ統計ニ依ルト、五千百
萬噸アルト稱セラレ、最近ノ技術者ノ報告
ニ依レバ、一億萬噸アルト申サレテ居リマ
ス、假ニ一億萬噸アルトシマス、昨今日
本内地ニアル鐵鑛、赤鐵鑛ノ量ヨリ其
量ガ多イト云フコトデアツテ、甚ダ結構ナ
コトデアリマスガ、一體ハ商工省ノ報告
ノ五千百萬噸ガ確實ナノカ、或ハ一億萬
噸カ、之ヲ大キク言フ人ハ八億噸アルトサ
ヘ言ツテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ付テ何
カ調査サレタコトガアルカドウカ、ソレカ
ラ砂鐵ニハ從來「チタン」ガアルカラ、製鐵ニ
ハ甚ダ不完全デアアル、假ニ「チタン」ヲ取ル
コトガ出來テモ、生産費、即チ「コスト」ノ上
ニ於テ採算ガ成立タスト云フコトカラ、砂
鐵製法ガ顧ミラレナカツタノデアリマス、
會テ久慈デ商工省ガ相當大キナ金額ヲ助成
セラレテ松方サンガ八百萬圓デ砂鐵製鍊ヲ
サレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、併
シモノハ出來タガ、採算ガ採レズ、長續キ
ヲシナイデ解散ノ悲運ヲ見タコトハ御承知
ノ通りデアリマス、先程手許ニ配付サレ
マシタ報告資料ノ中デ、日本製鐵ガ調査研
究セラレタ結果、從來「チタニウム」ヲ含
有スル砂鐵鑛ハ熔鑛爐ニ依ル製鍊ハ困難ト
セラレタガ、實際研究ノ結果出來ルヤウニ
ナツタト云フ御報告ヲ得マシテ、日本ノ鐵
鋼界ノ爲ニ甚ダ慶スベキコトデアルト存ジ
マスガ、是モ果シテ一ツソノ研究ニ過ギナイ
ノカ、或ハ實際ノ事業價值トシテドレ程マ
デ將來ノ見透シガアルノカ、此ノ點ニ付テ
伺ヒタイノデアリマスガ、今日砂鐵ヲ利用
シテ相當ナ會社ガ簇出シテ居リマス、其ノ
中ニハ羊頭肉ヲ掲ゲタヤウナ會社モア
リ、又眞ニ世界ニ誇ルベキ會社モアリマス

○卯尾田委員 只今御話ヲ聽キマシテ、有
ユル方法デ鋼塊、鋼材ヲ用意シナケレバ、將
來ノ國防ノ上カラ見テモ、生産力擴充ノ上
カラ見テモ不圓滑ナコトニナリ、ソレガ一
丸トナツテ全體ノ生産擴充ニ及ボス或ハ物
動計畫ニ反映スルト云フ結果ニナリマスバ
カリデナク民需ノ不滿ガ爆發致シマスカラ、其
ノ點ハ努メテ當局ニ於カレマシテ電力ヤ資材
アラユル角度カラ助長獎勵シテ戴キタイト
思ヒマス、次ニ鑛山局長ニ砂鐵ノ件ニ付テ御
尋致シマス、元來砂鐵ハ埋藏量ガ判明シマ

○卯尾田委員 只今御話ヲ聽キマシテ、有
ユル方法デ鋼塊、鋼材ヲ用意シナケレバ、將
來ノ國防ノ上カラ見テモ、生産力擴充ノ上
カラ見テモ不圓滑ナコトニナリ、ソレガ一
丸トナツテ全體ノ生産擴充ニ及ボス或ハ物
動計畫ニ反映スルト云フ結果ニナリマスバ
カリデナク民需ノ不滿ガ爆發致シマスカラ、其
ノ點ハ努メテ當局ニ於カレマシテ電力ヤ資材
アラユル角度カラ助長獎勵シテ戴キタイト
思ヒマス、次ニ鑛山局長ニ砂鐵ノ件ニ付テ御
尋致シマス、元來砂鐵ハ埋藏量ガ判明シマ

ガ、ソレ等ノ會社ノ名前ヲ聽キタイトハ申シマセヌガ、砂鐵利用會社ノ實績等ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 砂鐵ノ埋藏量ハ日本全國ニ跨ツテ居リマシテ、其ノ埋藏量ヲ調査スルコトハ容易ナコトデアリマセヌ、從來一箇所ニ一億噸トカ何トカ云フ砂鐵ガ埋藏サレテ居ルト言ハレタ場所モアリマシ、又言ハレタ時期モアリマス、併シ今日デハ必ズシモサウ澤山アルト云フ結論ハ出テ居ナイト承知シテ居リマスガ、殆ド全國ニ砂鐵ガ沖積鐵床ヲ成シテ居ルト云フコトハ甚ダ頼母シイコトデアルト存ジマス、此ノ砂鐵ノ利用ニ付テハ、數年或ハ十數年來隨分研究モシ、又政府モ助成金其ノ他ノ方法ニ依ツテ砂鐵ノ利用ニ努力シテ居リヤウデアリマス、「チタニウム」ヲ抽出スルトカ、或ハ「バナヂウム」ヲ抽出スルトカ、或ハ「バナヂウム」其ノ他ノモノヲ含メタ特殊鋼ヲ直接作ルト云フヤウナコトヲ考ヘテ、ソレゾレ企業化シテ居ル部分モアルヤウデアリマス、高周波ニ依ル砂鐵ノ利用ナドハ其ノ最モ尤ナルモノト思ヒマスガ、砂鐵利用ノ製鐵事業ニ付キマシテハ鐵鋼局カラ御説明願ヒタイト思ヒマス

技術ノ問題モ絡ミマスケレドモ、寧ロ經營技術ノ方ノ問題デアリマシテ、純化學技術ノ問題ダケヲ考ヘルベキコトデアリマセヌ、大規模ニアルトカ、或ハ澤山ノ仕事ヲヤル爲ニ「チタニウム」デ無理ナコトヲシテモヤレバヤツテ行ケルト云フコトモアル譯デ、是ダケ専門ニヤツテ儲ルカ儲ラスカト云フ問題ニナルト、純技術ト經營ノ問題ガ一緒ニナツテシマヒマスガ、多角的ノ經營デモヤレバ案外豫想以上ニ旨ク行クノデハナイカト云フコトモ想像セラレマスガ、現在ハ今申上ゲタ通り差當リノ増産ガ急デアリマスカラ、是ハ實施シテ居リマセヌ

次ニ砂鐵ノ利用狀況デアリマスガ、其ノ會社ヲ申上ゲルト、日立製作ガ安來工場デ數年前カラ砂鐵ヲ原料トシテ相當優秀ナモノヲ造ツテ居リマス、更ニ日本砂鐵工業株式會社ガ兵庫縣ニ於テ砂鐵ヲ利用シテ、更ニ日本高周波重工業株式會社ガ富山工場及ビ北品川工場デ電擊法ニ依リ高級鋼ヲ製造中デアリマス、更ニ日本「ステンレス」株式會社ノ直江津工場ニ於テモ——是ハ從來屑鐵ノ原料トシテ「ステンレス」ヲ造ツテ居リマシタガ、最近擴張ヲ許可セラレタ部分ニ付テハ砂鐵ヲ利用シヨウト云フコトニナツテ居リマス、更ニ豐岡砂鐵製鍊株式會社モ砂鐵ヲヤツテ居リマス、更ニ日本特殊鋼管株式會社ガ青森縣ノ大湊附近デ砂鐵ヲ製鍊シテ居リマス、日本曹達株式會社ガ米子及ビ富山ノ工場デ砂鐵ヲ使ツテ成功シテ居リマス、ソレカラ川崎重工業——是ハマダ計畫中デアリマスガ、先程御話ノアツタ松方サンノ後ノ久慈ノ砂鐵ヲ利用シヨウトシテ目下頻リ設備ヲ急イデ居リマス、併シ之ヲ大體ニ見マシテ三ツニ分レル譯デアリマス、一ハ代表的ナノハ日本高周波重工業ノ電擊法ニ依ルモノデアリマス、二ハ日本特殊鋼管株式會社ノ大湊工場ニ於ケル「バッセー」ノ方法ニ依ルモノデアリマス、三ハ「クルップ」ノ法ニ依ルモノデアッテ、川崎重工業ガ久慈ニ於テ行ハウトシテ居ルモノデアリマスガ、是モマダ實際實施ニハ至ツテ居リマセヌ、併シ近ク設備ヲ整ヘテ其ノ製鍊ニ移ルガラウト思ハレマスノデ、其ノ結果ニ付テハ、吾々ハ相當注目シテ居リマス、大體コンナ風デアリマス

○卯尾田委員 只今各方面ノ砂鐵利用ノ社名ヲ承リマシテ、從來拾テテ顧ミナカッタ砂鐵ガ一年々幾ラツツデモ、斯ウ云フ時ニ利用セラレテ日本ノ國策ノ上ニ反映セシメルコトハ非常ニ結構ナコトデアルト思ヒマス、併シ從來此ノ砂鐵製鍊ニ對シテ如何ナル助長獎勵ヲサセテ居ルノカ承リタイノデアリマスガ、是ハ砂鐵製鍊獎勵ノ一ツデアルト考ヘマスガ、製鐵事業法ノ第十一條ニハ御承知ノ通り、砂鐵又ハ前條ノ鐵鋼ヲ配合シテ製鍊ヲ爲スモノハ免稅出來ルコトニナツテ居リマス、即チ砂鐵ヲ利用シテ鉄鐵ヲ拵ヘル事業ニ對シテハ免稅ヲ受ケラレルノデアリマスガ、今日一體鉄鐵ガ必要デアアルカ、鋼材鋼塊ガ必要デアアルカ、鉄鐵ガ最終デアアルカ、鋼塊鋼材ガ最終デアアルカハ、議論ノ餘地ハアリマセヌ、鐵ト稱シマスルノハ勿論、吾々ガ希望スルノハ所謂鋼塊、鋼材デアリマス、即チ鉄鐵ヲ造ル者ニハ免稅ノ特典ガアリ、鋼材、鋼塊ヲ造ル者ニハ免稅ノ特典ガナイト云フコトデアリマス、甚ダ製鐵獎勵ニ遺憾ナ點ガアリマス、將來斯ウ云フ點ニ付テハ、此ノ字句ヲ修正スルカ、或ハ新タノ法律ニ依ツテモ改訂シテ、

製鐵全體ニ對シテ恩惠ヲ與ヘルコトコソ、今日製鐵獎勵上必要ナ事項ト思ヒマスガ、政府ハ之ニ對シテドウ御考ナサルカ

○塩谷政府委員 砂鐵ヲ原料トスル鐵鋼ノ製鍊ニ關スル獎勵法デアリマスガ、從來數回砂鐵ヲ利用シテ鐵ヲ造ルコトニ補助金ヲ出シタコトゴザイマス、現在ニ於キマシテハ研究費トシテ東北興業——是ハ豫算トシテモ計上シテアル筈デアリマスガ、補助金ヲ出シマシテ、東北帝大ヲシテ研究サレテ居ル狀況デアリマス、ソレ以外ニハ現在特別ナ補助金ト云フモノハアリマセヌガ、製鐵事業法ニ依ル保護ハ結局免稅デアリマス、免稅ニ付テハ只今御話ノアリマシタヤウニ、製鐵事業法ノ第十一條ニハ成程「砂鐵又ハ前條ノ鐵鋼ヲ配合シテ製鍊ヲ爲ス製鐵事業」ト云フコトニナツテ居リマシテ、一見砂鐵ヲ以テ直接製鍊スル者ニハ及バナイヤウナコトニナツテ居リマスガ、砂鐵ヲ以テ直接製鍊スルト云フヤウナ場合ハ、寧ロ第十條ノ規定デ、「特殊ノ設備ヲ新設又ハ増設」ト云フ特殊ノ設備ニ依ツテ造ラレルモノトノ解釋ヲシテ居リマス、併シナガラ技術ハ日ニ進歩シマスノデ、若シ斯ウ云フヤウナコトニ付キマシテ豫測ノ出來ナイ新シイ發明ガ出來タ、ソレガ非常ニ結構ダト云フコトニナルナラバ、法ノ缺陷ヲ急イデ補填スル爲ニ改正ヲスルコトハ勿論デアリマス、吾々モソレニ付キマシテハ、此ノ法律ハ非常ニ新シイノデアリマスケレドモ、近頃ノヤウニ「テンポ」ノ早イ時代ニハ、絶エズ之ノ改正ヲ考究シナケレバナラスノデ、常ニソレニ付テハ怠ラナイ積リデ居ルノデゴザイマス

○卯尾田委員 只今適當ナ時ニ考ヘタイト

云フ御意見アリマシテ、ソレハ尙ホ十條デモサウ云フ解釋ハ出來ルコトモアリマスガ、ヤハリハ明瞭ニ法文ニ現ハスコトガ原則ダト考ヘマスカラ、適當ナ時ニ改正ヲ御願シタイト思ヒマス

最後ニ、砂鐵鑛區ハ全國ニ相當散在シテ居リマス、併シ先程資料ヲ戴キマシタガ、五十箇所ノ中僅ニ四箇所シカ採掘シテ居リマセヌ、是ハ今日ノ時局カラ見テ甚ダ遺憾ナコトト思ヒマス、是ハ從來餘リニ顧ミラレナカツタ關係モアリマスケレドモ、要スルニ政府ニ於テ之ヲ督勵セラレナカツタ關係モ禍ヒシテ居ルト思ヒマス、今後斯ウ云フ砂鐵利用ニ依ツテ受ケル效用ヲ考ヘマシテ、十分砂鑛區ノ利用ヲ獎勵シテ戴キタイト考ヘマス

ソレカラ砂鐵製鐵事業ハ一面相當ナ生産費ガ過重サレルノデアリマス、斯ウ云フ製法ニ依ツテヤルコトハ、今日ノヤウナ立場デアラナラバ、或ハ換算ガ取レルカモ知レマセヌガ、情勢ガ變ツテ、斯ウ云フ方面ノ事業ニ一大蹉跌ガ起ル場合モアリマスカラ、今カラ斯ウ云フ方面ニ對シテ政府ハ監督指導シ、一面ニ於テハ獎勵助長シ其ノ事業ヲ發展セシムルト同時ニ、他面ニ於テハ是等ニ對シテ相當計畫的ニ擴充シ國家危急ヲ救フコトヲ考ヘナケレバナナイト思ヒマス、サウ云フ點ト相俟ツテ萬遺憾ノナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、以上私ノ質問ヲ終リマス

○塩谷政府委員 只今ノ御意見洵ニ御尤モデアリマス、幸ヒ砂鐵カラ出來マス所ノ鐵ハ特殊鋼ノ原料ニハ非常ニ適シテ居ルモノデアリマス、特殊鋼ハ御承知ノ通り現在ノ國際關係ノゴトノシタ中ニ於テハ、軍備

其ノ他ノ關係デ非常ニ重要ナモノデアリマスカラ、其ノ原料ニモ廻ハスト云フヤウナコトニ依ツテ砂鐵業ノ安定ヲ圖ルコトハ出來ルダラウ、萬ガ一ニモ砂鐵業ニ蹉跌ガ起ルト云フヤウナコトハナイデアラウト考ヘテ居リマス

○櫻井委員長 今度ハ川崎君デアリマスガ、今東條君ガ北海道長官ニ留保サレテ居ル點ガアリマスカラ、北海道長官ガ間モナク見エルト思ヒマスガ、見エタ時ニハ川崎君ノ途中デ御譲リヲ願ヒタイト思ヒマス——川崎已之太郎君

○川崎委員 私が大分最後ニ近イ番ニ廻リマシタノデ、今マデ先輩同僚諸君カラ専門的ノ知識ヲ以テ有ユル角度カラ御質問ガアリ、御丁寧ナ御答辯ガアツタノデ大分色々ナ點ガ明ニナツテ居リマスノデ、私ハ稍、變ツタ角度カラ三四ノ御尋ヲ簡單明瞭ニ致シタイト思フノデゴザイマス

ソコデ鑛業法ノ改正法ガ出來タノデゴザイマスガ、此ノ前ニ只今ノ小倉局長ガ主任ニナツテ、重要鑛產物ノ法案ヲ此ノ議會ヘ當局カラ御出シニナツテ通過致シタ譯デゴザイマスルガ、是ガ實行セラレルノハ昨年頃カラト思ヒマスノデ、サウスルト戦争ノ役ニ立セル爲ノ重要鑛產物法ノ實施ガ昨年度スカラ、效能ハ是カラ後ニ漸ク現ハレテ來ルノデアリマス、戦争ガ二年モ三年モ經ツテカラ、少シツツ效キ目ガ出テ來ルト云フノデ、是コソ泥棒ヲ見テ繩ヲ縛フト云フ類デアラウト思ヒマスケレドモ、其ノ繩ダケデハ足ラナイデ、鑛業法ノ他ノ部分ヲ改正シ、砂鑛法ノ他ノ部分ヲ改正スルト云フ案ヲ御出シニナツタ當局ノ御熱心ニハ深ク敬意ヲ表シマスケレドモ、是ハ泥繩ノ繼

ギ足シデ、大層手遅レシテ居ルコトヲ遺憾ト致シマス、併シ是ハ鑛山局ノ當局各位バカリデハナク、總テノ方面デ手遅レヲシタ、例ヘバ獨逸デアリマスレバ、今度戦争ヲ始メル其ノ何箇月カ前カラ既ニ切符制度ヲ平和ノ時ニ實行シ始メテ、オヤツト思ツテ居ルト戦争ガ始ツタ、斯ウ云フ風ニ手取早ク準備ヲシテ居リマシタガ、日本ハ商品ノ配給バカリデハナク、獨リ農林省ノ仕事バカリデハナク、商工省ノ仕事デモ後廻シ——ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ法案モ後廻シニナツタモノノ一ツデゴザイマスガ、此ノ際ニ御伺シタイノハ、此ノ改正法案ニ依リマシテ、二年ツツ試掘權ヲ切替ヘテ、別ニ本氣ニヤル積リモナシ、又ヤル實力モナイ者ガ何年モ殘シテ、天物カ暴珍シテ居ルト云フコトノ弊ヲ絶ツコトハ出來ルデゴザイマセウカラ、幾ラカノ改善ニナツテ結構ダラウト思フ、砂鐵ノ方モサウダラウト思ヒマス、果シテ是デ所期ノ増産ノ目的ヲ達シ得ルカドウカ、此ノ方法ガ宜イカドウカハ別ノ問題トシテ、此ノ思ヒ立ハ大層結構ダト思ヒマシテ、私共賛成ヲ致シ敬意ヲ表シマス、併シナガラ是ハ如何ニモ型ノ小サイ話デ、恰度東海道線ノ汽車ヲ、今マデ石炭デ動カシテ居タノヲ大船ノ少シ先マデ電化シタト云フ程度ノモノデアアル、ソレモ前ヨリモ増シデアリマスケレドモ時勢ノ要求ニハマダ合ハス、時勢ノ要求ハ何カト云フト、東京カラ馬關マデ九時間デ走ルヤウナ廣軌鐵道デナクテハナラヌト云フコトデ、鐵道省ハ既ニソレニ著手シテ居ルノデアリマス、鐵道省ノソレニ比スルト云フト、此ノ商工省ノ鑛業法ハ甚ダ手緩イ、大船マデ電化スルト云フ

位ノ小刀細工ニ過ギナイト思フノデアリマス、ソコデ私が御伺シタイ第一點ハ、左様ナコトデアリマスカラ之ヲヤツテ、砂鐵デモ、本當ノ鐵デモ、其ノ他ノ鑛物ヲ少シデモ増産ガ出來レバ、ソレハ御國ノ爲ニナリ、事變解決ニ資スルノデゴザイマスカラ結構デゴザイマスガ、ソレト同時ニ、モウ少シ別ノ方面ノコトヲセラレテハドウカ、土ノ下カラ金ヲ掘出スコトノ外ニ、全國ノ吾々同胞ノ持ツテ居リマス金ヲ澤山買上ゲテ、サウシテ之ヲ正貨準備ノ補ヒニ豫備ニ充テテ置クト云フノデゴザイマス、ソレガ爲ニ昨日モ色々御話ノ末ニ今度鐵ノ方ニ手ヲ出スノニ、釣鐘ダトカ濡レ佛ダトカ、ソレカラ神社佛閣ニ用ヒテ居ル色々鐵ヲ銅デ拵ヘテアル器物、ソレニマデ手ヲ出スカドウカ、マア考ヘモノダト云フ雜談的ノヤウナコトガアツタヤウニ思ヒマスガ、今ハ其處マデ行キ詰メテ居リマス、此ノ際デゴザイマスカラ、鐵道省ノ政務次官モ居ラツシヤルコトデゴザイマスノデ、兩方ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマスガ、日本ノ鐵道ノ中、國有鐵道デモ宜シ、澤山ノ私設鐵道デモ宜シ、幹線デナイ横ノ方ニ出テ繋グノガ澤山アリマス、ソレハ勿論必要ガアツテ、大金ヲ掛ケテ建設シタ鐵道デゴザイマスガ、其ノ中「レール」ダケ一時外シテ、鐵ノ需要ノ方ニ向ケテハドウカ、之ヲ製鐵所ナリ何ナリデ熔カシテ、色々ナ物ニシタナラバ、間ニ合フノデハナイカ、當局ガ能ク御存ジノ通りニ、今鐵飢饉ハ極端ニナツテ居ル、和歌山縣ヤ靜岡縣デハ、外貨獲得ノ爲ニ蜜柑ヲ輸出シヨウトシテモ、其ノ箱ヲ作ル爲ノ釘ガ不足シタト云フヤウナ話ガアリマスシ、ソレカラ埼玉縣ノ何處カノ町

デハ、是ハ甚シク極端ナ例デ、サウ澤山アルコトデハアリマスマイガ、棺桶ヲ作ルニ長イ釘ガ無クテ困ツタト云ツテ、陳情ニ來タコトヲ私共聞イタコトガアルノデアリマス、又戰地ヘ行ツテ見レバ、小金局長モ戰線ヘ行ツテ御分リデセウガ、アノ時ヨリモウ少シ窮迫シテ居ル、占據地域ノアノ匪賊ヲ追廻スノ一番良イ道具ハ、「トラック」自動車デアリマス、ソレデ輕便鐵道、鐵山ノ中デ用フルヤウナ輕イモノデモ走ラシタラ宜イノデハナイカト思フ、地域ガ廣イノニ日本カラ行ク物資ガ少イ、支那ノ方ニハ大治ニドレダケアル、龍烟ニドレダケアルト言フガ、ソレハ紙ニ描イタ餅ノヤウナモノガ埋ツテ居ルノデアツテ、今ノ役ニハ立タヌ、大治ノ方ハ少シツツ出テ居ルガ、是ハ企畫院總裁ノ御話ノヤウニ、少シバカリデ、ホンノ眼藥位ノ所デゴザイマス、ソコデ日本ノ鐵道ノ幹線ハソレドコロデナイガ、今申シタヤウナ國有若クハ私有鐵道ノ「レール」ヲ一時拜借シテハドウカ、事變ノ濟ムマデデモ宜シイ、其ノ間ノ補給ニハ省營自動車デモ向ケテ呉レバ宜シイ、此ノ頃デスカラ「ガソリン」ガ無イカラト仰シタルデアリマセウガ、是ハ東京市内デ黄「バス」青「バス」ヲ初メト致シマシテ木炭デ走ツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウニヤル御意思ガナイカ、又之ヲ出ス前ニアナタ方ノ省内ノミナラズ、閣議カ何カデ左様ナ問題ガ起ツタコトガナイカ、ソレヲ御伺シタイ、米國カラ來マス屑鐵ハ主ニ「レール」ヲ外シタモノガ澤山アルサウデアリマス、日本デモ世界戰爭ノ時ニハ、富士ノ山ノ途中ノ五湖廻リカ何カス軌道カ何カヲ外シテ賣ツテ儲ケタ例ガアリマス、

今當局ハ餘リ斷乎トシタ方針ヲ御示ニナラヌモ「ダカラ、ブツ潰レサウナ鐵道ガ、今マデ保護ヲ受ケテ居ルノニ、今此ノ際「レール」ヲ外シテ賣ツタリシテハキマリガ惡イト云フノデ、損ヲシナガラ銷配當ヲ繼續シテ居ルト云フヤウナコトデアル、其ノ實例ヲ示セト言フナラバ、私ハ澤山示シ得ルモノガアルノデアリマス、左様ナ私設鐵道マデ無理ニ世話ヲシテ、サウシテ無用ナ所ニ鐵ヲ遊バシデ、赤ク錆ビサセテ置ク必要ハナイデハナイカ、是ハ製鐵界ノ相當ノ權威者カラモ度々聽カサレテ居ル所デアリマスカ、今マデ斯様ナ評議ガアツタカドウカ、ナケレバ此ノ際其ノ邊マデ御研究ニナルカドウカ御答ヲ願ヒタイ、是ハ鐵道省ノ方ノ御意見モ伺ヒタイ

○櫻井委員長 此ノ際委員並ニ政府委員各位ニ御願致シテ置キマスガ、大體理事ノ間ノ豫定デハ、本日ヲ以テ質疑ヲ終了致シタイト存ジテ居リマス、隨テ質疑應答ハ、共ニ其ノ要ヲ得ラレンコトヲ御願致シタイト思ヒマス

○小金政府委員 此ノ鐵道開發ノ基本法デアリマス、鑛業法及ビ砂鑛法ヲ改正致スニ付キマシテ、鑛山資源、即チ地下資源ノ開發ヲ促進シナケレバナラスト云フ立場カラ出發シテ居ルト云フ點ニ付テハ勿論デアリマスカ、其ノ地下資源デアル所ノ金屬、其ノ金屬ノ回收ヲ同時ニ考ヘタカト云フ御趣旨ノ御質問デアリマスガ、是ハ物資動員計畫ニ於テ企畫院ノ方面ニ於テ此ノ事ニ付テモ十分考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ具體的ノ問題ニ付キマシテハ、他ノ方面カラ御答ガアル筈デアリマス

○宮澤政府委員 川崎君カラ色々御質問ガアリマシタガ、所謂國有鐵道ノ支線デアルトカ、地方鐵道ノ殆ド不用ニ近イヤウナ線路ヲ始末シテ「レール」ヤ何カヲ今ノ鐵道ノ對策ニ用ヒテハドウカ、サウ云フ風ナ話デモ閣議ニ於テアツタカ、又鐵道省ハドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フ御質問カニ承ツタノデアリマスガ、政府ト致シマシテ、具體的ナサウ云フ話ガアツタカ、ナカツタカト云フコトハ存ジマセスカラ、私茲ニ御答致シ兼マスガ、鐵道省ト致シマシテハ、一體此ノ種ノ鐵道ガ出來マスニハ、其ノ地方ノ事情カラ必要ガノツテ出來タモノデアリマスカラ、爾ク簡單ニハ參ラスト思フノデアリマスガ、併シ時代ノ經過ニ依ツテ、他ノ交通機關ガ出來マストカ、或ハ其ノ地方ノ產業上ニ異狀ガ來タトカ、或ハ交通ニ付テ豫想以上ニ交通量ガ非常ニ少クナツタト云フ事情デ、殆ド營業不振ニ陥ツテ居ル、又經營者ノ方デモ營業廢止ノ願出ヲ爲ス者ガアレバ是ハ必ズシモ抑止致シマセス、現ニ許可致シマシタ例ハ、長野縣ノ池田鐵道、長崎縣ノ雲仙鐵道、上野ノ東野鐵道ノ一部分、千葉縣ノ成田鐵道ノ一部分デアリマス、是等ハ既ニ營業廢止ノ許可ヲ認メマシテ、ソレハ「レール」等ノ處分モ出來タヤニ聽イテ居ルノデアリマス、是ハ實際問題ト致シマシテ、地方ガソレヲ餘リ平生ハ利用致シマセヌデモ、一旦出來タ設備ヲ廢止致シマスコトニ付テハ、色々反對ノ陳情ナリ運動ナリアリマシテ、鐵道省モ從來此ノ調停ニ困ツテ居ルヤウナコトモアリマスケレドモ、必ズシモ之ヲ許可シナイヤウニハヤツテ居リマセヌ、以上ノ實例ヲ以テ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○川崎委員 第二ニ今度ノ改正案ニ於キマシテハ、陸海軍ガ大層雅量ヲ示シテ、從來要塞地帶デハ第一區ハ三百間、ソレカラ第二區、第三區ト分レテ居リマスガ、其ノ内ニ鑛石ガアレバ今度ハ開放スルト云フ決心マデ現ハレ、ソレガ十分ニ出テ居ルヤウデアリマス、ソレハ鑛業法第十條ニアルモノヲ今度ハソコマデ開放スルコトニナツタ、其ノ次ノ第十一條ニハ鐵道其ノ他ノコトヲ規定シテ居ルガ、鐵道ハ鐵道線路ノ三十間ノ外マデシカ掘ラセナイト規定シテゴザイマス、此ノ三十間ヲモウ少シ軍ノ奮發ニ共鳴シテ、アナタ方ノ方モ三十間ヲ二十間ナリ十五間ナリニスル意思ハナイカ、ソレハ勿論地盤ノ如何ニモ依リマセウガ、其ノ位ニシテ宜イデヤナイカト思フノデアリマス、國有鐵道建設規定、ソレハ昭和四年七月ノ省令デゴザイマスガ、ソレノ第二十一條ニハ、「停車場外ニ於テハ軌道ノ中心間隔ハ三米六以上」云々トゴザイマス、中心カラ三米六トスルト約七米バカリノ幅ガアレバ停車場外ハ宜イ、其ノ外ニモ緩和ノ規定ガアルヤウデアリマス、私共マルキ素人デゴザイマスカ、サウ云フヤウニ見エマス、ソレデスカラ鐵道ノ土手ノ所デハ三十間ヨリモウ少シ喰込デモ宜ササウニ思フ、此ノ規定ハ古イ時代ノ話デアリマス、殊ニ下ガ岩石カ何カデ地盤ガ堅イ場合ニハ恐ラク心配ハナイト思ヒマス、ソレカラ鑛物ニモ依リマセウガ、砂鑛ナレバ三十間以內ヲ切込メバソコノ鐵道ヲ切崩シマセウ、又炭坑デモ困ルデセウ、殘ラズ石炭ヲ掘ツタラボコツト土地ガ落ちル、御承知ノ通り金鑛ノ如キハ鑛脈ガ稻妻ノ線ノヤウニ行クノデスカラ、鑛脈ガ通ツタ所サヘ掘レバ宜イノデス、既ニ掘リ始マツタ鑛山ノ上ナドヘ鐵道ヲ敷イテ

居ル實例ヲ私ハ知ツテ居ルガ、後カラ鐵道ヲ敷イテ早速此ノ三十間ノ規定ヲ利用シテ、三十間以内ニ入ツテ來テハイカスト云フヤウニヤリマシテ、三十間以内ニアツタ坑ノ孔ナドヲ埋メテシマツタヤウナコトモアリマス、是ハ今ト時勢ノ違フ十數年前ノコトデゴザイマスガ、今日ハ鐵ヤ金ヲアンナ大騷ギラシテヤツテ居ル時デゴザイマスカラ、其ノ意味デ三十間以内ト云フ一條ノ規定ヲ、地盤ノ關係、鑛物ノ關係ニ依リマシテ、モウ少シ緩和シ、掘リ進マセルコトヲ得ルコトニナル御意思アリヤ否ヤ、是モ鐵道省ト鑛山局トノ兩方ノ關係ニナリマスガ、御同致シタウゴザイマス

○小金政府委員 鑛業法第十一條ニ規定ニ依リマシテ、鐵道ノ周圍三十間以内ノ場所ニ於テハ鑛業ヲ一應休止致シテ居リマスルガ、是ハ全ク安全保持ノ爲デアリマス、此ノ三十間ト云フ標準ヲ決メマシタノハ、一應我國ノ地盤ノ平均シタ所ヲ抑ヘテ、三十間ト定メタモノト心得マス、隨ヒマシテ其ノ鑛物或ハ岩盤ノ狀態ニ依リマシテ、必ズシモ三十間ヲ必要トシナイ場合モアルコトト存ジマス、其ノ場合ニ於キマシテハ所轄官廳ノ許可、所有者及ビ關係人ノ承諾ヲ受ケレバ、鑛業權者ハ鑛業ヲ爲スコトガ出來ル、其ノ場合ニ於テ所有者及ビ關係人ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ナイトナツテ居リマスカラ、川崎サンノ只今ノ御質問ノ中ニアリマシタ具體的ノ場合ニ付テハ、解決ガ付クコトト存ジマス

○宮澤政府委員 商工當局ノ答辯ヲ以テコテラノ答辯ト致シマス

○櫻井委員長 川崎君、一寸今御願シテ置イタ北海道長官ニ對スル質疑ガアリマスカ

ラ——東條君

○東條委員 石炭ノ増産其ノ他鑛物ノ増産ガ急用デアアルコトハ申スマデモナイ、殊ニ石炭ニ付キマシテハ、最近政府ハ増産計畫ヲ御提出ニナル狀態ニナツテ居リマス、所ガ石炭ト云フコトニナリマスルト、内地デハ九州及ビ北海道ガ非常ニ重要ナ關係ヲ持ツテ居ルデアリマス、ソコデ此ノ増産ニ最モ必要デアリマスルモノハ、申スマデモナク資材ト努力デアリマス、所ガ其ノ資材ニ付キマシテモ、中々必要量ガ得ラレナイデ困ツテ居ルデアリマス、其ノ中デモ一番ニ困リマスノハ坑木デアリマス、前年ノ例ヲ見マス、北海道ハ所謂森林國デ、相當ニ木ガ豊富ナ管デアリマスレドモ、約十五萬石ノ内地カラ北海道ニ移入ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、政府ノ増産計畫ニ從ヒマシテ、十五年ニ於ケル坑木ノ需要全體ヲ見マスルト、二百十萬石位ノ必要ガアルト云フコトデアリマス、今日デハ民有林モ以前ト違ヒマシテ、非常ニ蓄積ガ不足ニナツテ居リマス、更ニ國策「バルブ」ノ關係ナドデ、民有林ハ此ノ方面ニモ相當豫定サレテ居リマスノデ、中々坑木ガ得ラレナイデ困ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソコデ國有林、ソレカラ地方有林或ハ御料林、斯ウ云フ方面カラ坑木ニ向ケラレマスモノヲ十四年ト同一ト見テ、民有林及ビ内地カラ移入致シマスモノノ大體豫定ヲ取ツテ見マシテ、尙ホ約五十萬石近ク不足ヲスルト云フヤウナ計算ニナルヤウデアリマス、坑木ガゴザイマセヌケレバ、増産ドコロカ現在ノ産額ヲ維持スルコトモ出來ナイノデアリマス、是ハドウシテモ北海道ノ國有林、地方費有林、御料林ト云フヤウナ方面カラ供給

ヲ願ハナケレバナラスコトニナルデアリマスルガ、北海道ノ林ニ對シマシテハ、斫伐計畫ガ立テラレテ居リマシテ、此ノ豫定ニ依ツテ進メテ行カナケレバナラスト云フ大體ノ原則ハ勿論私共能ク承知ヲ致シテ居ル、斯様ナ非常ナ場合デアツテ、而モ石炭ガ有ユル産業ノ基礎デアリマスルコトハ申スマデモナク、所謂非常時ニ對スル非常ノ計畫ガナケレバナラスノデアリマス、國有林ガアルノダカラ、何デモ構ハナイ、之ヲ當ニスルト云フ意味デハナイ、有ユル手段ヲ盡シテ出來ルダケハ民有林カラ之ヲ得ルト云フコトハ、勿論ノ話デアリマスガ、ドウシテモ得ラレナイ場合ニ於キマシテハ、増産ヲ豫定ノ通り進メル上カラ行ケバ、勢ヒ今申シタ國有林、地方費有林、御料林、此ノ三ツニ依存スル外ハナイト云フコトニナル、御料林ノコトハ別デアリマスルガ、國有林及ビ地方費有林ニ付キマシテ、此ノ點ニ付テ長官ノ御考ハ如何デアリマセウカ、ソレヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キタイ

○戸塚政府委員 只今ノ坑木ノ御話デゴザイマスルガ、御話ノ中ニアリマシタ内地カラ不足分ヲ入レルト云フコトハ、一寸私今ハツキリ致シテ居リマセウカ、他カラモ多少入レテ居リマセウガ、十三年度ノ實績デ百二十四萬石デアリマシタノガ、十四年度ニハ百五十二萬石ヲ出シテ居リマス、ソレカラ漸増シテ十六年度ニハ二百萬石出ス大體ノ見込ヲ付ケテ今ヤツテ居ルデアリマス、其ノ種類ハ民有林ノ方が多イカモ知レマセウガ、ヤハリ一部ハ國有林其ノ他御料林等カラモ出シテ居ルデアリマス、尙ホ需要ノ増加ニ伴ヒマシテ、將來ノ計畫ヲ立テル意味カラ道廳ト致シマシテモ、今後國有林

或ハ地方費有林尙ホ延テハ民有林ニマデモ山林經營ヲ改善シテ將來ノ増産ニ資スルヤウニ目下調査ヲ致シマシテ努メル積リデゴザイマス、又御承知ノ北海道鑛山林業株式會社ガ昨年六月設立ニナリマシテ、此ノ方デ約五萬歩ノ坑木用備林造成ノ計畫ヲ致シテ、或ハ御承知カモ知レマセウガ、ソレノ方法デ參リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ只今御話ニアリマシタ非常時ニ際シテ云フ意味カラハ、或ハ或ル場合ニハ或ハ程度山林經營ノ上カラ無理ヲ致シマシテモ已ムヲ得ナイト云フ考モ持ツテ居ルデアリマスガ、是ハ自ラ限度ガアリマス、此ノ點ニ付テハ愈々實際ニ打突カツテカラデナケレバ、明確ニ御答申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス

○東條委員 サウ致シマス、有ユル手段ヲ盡シテドウシテモ足ラナイト云フ時ニハ、ソレヲ充スコトニ付テノ御考ガアルト云フヤウナ御趣旨デアリマスルカラ、ソレデ大體諒承致シタノデアリマス、詰リ十分民林ナリ或ハ内地材ナリノ手配ヲ致シマシテ、萬已ムヲ得ザル時ニ於テハ、國有林地方費有林等ニ於テ之ヲ供給シテ戴ケルト云フ風ニ諒承シテ宜シイト存ジマスルカラ、此ノ問題ハ此ノ程度ニ止メマス

ソレカラ第二ニ、北海道ハ御承知ノ通り冬季ニ於キマシテハ、家庭用石炭ハ、或ル意味カラ申セバ米以上ニ大切ナノデアリマス、此ノ家庭用石炭ニ或ル規正ヲ加ヘラレルト云フノデ、昨年ノ秋非常ニ道民ガ脅威ヲ感ジテ居ツタノデアリマス、丁度長官ハ御赴任勿々デアリマシタケレドモ、此ノ問題ハ道民ノ生活安定ノ上カラ非常ニ重大ナル事柄デアルト云フノデ、非常ニ御努力ニ

ナリマシテ、必要量ダケノ配給が受ケラレ
ルヤウニナリマシタノデ、道民ハ非常ニ感
謝ヲシテ居ルノデアリマス、而モ其ノ價格
ハ公定價格ヨリモ安ク、私ノ承知シテ居リ
マス所デハ、物ニ依ツテハ、應當リ一圓二十
錢乃至一圓七八十錢安ク供給サレテ居ルト
云フコトハ、長官及ビ北海道廳ノ御努力ニ
依ルノデアリマシテ、是モ道民ハ非常ニ感
謝致シテ居リマス、所ガ最近家庭用石炭ノ
廻リガ非常ニ惡クナリマシテ、モウ「スト
ー」ノ必要ナ期間モアト精々一箇月位ト
云フ時期ニナリマシテ、非常ニ缺乏致シ
テ居ル地方ガアルノデアリマス、併シ
アト一箇月トハ言ヒナガラ、零下十何度ト
云フ日ガ相當ニアルノデアリマスカラ、石
炭ナシデハ生活ガ出來ナイノデアリマス、
此ノ廻リマセス原因ヲ考ヘマス、ヤハリ
價格ガ公定價格以下ニ安ク協定サレテアル
コトガ原因ノヤウデアリマス、昭和系ノ炭
業者ノ如キハ、何レモ大會社デアリ、北海
道ニ長年ノ馴染ヲ持ツテ居リマスノデ、僅
カナ所デ約束ノモノヲ出サスコト出來ヌト
云フヤウナコトデ、ドウカ斯ウカ出シテ居
ルラシイ、「アウトサイダー」ノ方面ニナリ
マス、隨分閣下公定價格以上ニ出セマス
ル炭ヲ、公定價格ヨリモ以下ニ供給スルコ
トハ出來ナイト云フヤウナ譯デ、非常ニ家
庭用炭ノ配給ガ惡クナツテ居リマス、併シ
アト僅ニナツタ場合ニ於テ價格ヲ上ゲルト
云フコトモ、安イ筈デ配給サレテ居ルモノ
ヲ、中間ノ小賣業者ガ不當利得ヲスルト云
フヤウナ處モアリマスノデ、價格ヲ上ゲル
コトハ餘程考ヘネバナラス事トモ考ヘマス
ガ、兎モ角モ需要者カラ言ヘバ、値段ニ拘
ラズ無クテハ困ルノデアリマス、昨年以來

ノ御努力序ニ此ノ問題ヲ何トカ御解決ガ願
ヒマセスト、僅カナ期間デアリマスケレド
モ、道民ノ多數ハ非常ニ脅威ヲ感シテ居リ
マス、此ノ點ニ付キマシテ御方針ヲ承ルコ
トガ出來マスナラバ承リタイト思ヒマス
○戸塚政府委員 家庭用石炭ニ付テ御答ヲ
致シマス、其ノ前ニ先程非常時ニ處スル意
味デ相當ニ考ヘテハ居ルト申上ゲマタガ、
是ハ自ラ限度ガアルト云フコトダケハ御承
知ヲ戴キタイト思ヒマス、家庭用石炭ノ問
題デアリマスガ、私ノ所ヘモ所ニ依ツテ配
給ガ困難ニナツタ所ガアルト云フヤウナ報
告ハ參ツテ居リマス、併シ大體三月マデニ
配給殘リニナツテ居リマス約束ノ分ガ十萬
噸、是ハ昭和系モ、「アウトサイダー」ノ方
モ何レモ出シテ呉レルコトニ話ハ進メテゴ
ザイマス、大體間ハ合フデアラウ、無論申
上ゲルマデモナク、昨年暮以來道民ハ可ナ
リノ節約ヲ致シテ居ル、ソレト相俟ツテ辛
ウジテ此ノ冬ヲ越スト云フ程度デアリマ
スケレドモ、先ヅ行キ得ルデハナイカト云
フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、恐ラク今
一箇月、或ハ一箇月餘リノ間ト思ヒマスル
ガ、大體配給ガ出來ル見込デゴザイマス、
尤モ今御話ノ中ニアリマシタ値開キノ點、
是ハ私餘リ意見ガマシイコトハ此處デ申シ
タクナイノデアリマスガ、昨年ノ四月ト思
ヒマスガ、大體本年度ノ家庭用炭ノ値ヲ決
メル時分ニ、斯様ナ約束ガ出來テ居ツタノ
デアリマス、一ツニハ今御話ニモアリマシ
タヤウニ、北海道デ長イコト仕事ヲシテ
居ルト云フノデ、北海道民ニ對スル「サー
ビス」ノ意味デ、業者側ノ誠意ヲ示シタト
云フノデアリマス、洵ニ麗ハシイコトデア
リマスガ、諸デ實際問題ニナルト、今御話

ニアリマシタヤウニ、安イ方ニハ出シ難
ト云フコトハアリ勝チナコトダト思マス、
此ノ問題ハ今私モ十分研究考慮致シテ居リ
マス、將來ニ付テドウ云フ風ニスルノガ宜
イカト云フコトニ付テハ研究致シテ居リマ
スガ、今此處デ將來ドウスルト云フコトハ
申上ゲ兼ねマス、果シテ斯様ナ決メ方ヲシ
タノガ、家庭用炭供出ノ爲ニ宜カツタノデ
アルカ、惡カツタノデアアルカ、將來此ノ方
針デ行クノガ宜イカ惡イカト云フコトハ、
餘程ムツカシイ問題ダト思ヒマスノデ、今
少シ研究シタイト思ヒマス、無論ソレガ爲
ニアノ地方デ此ノ冬分ニ石炭ガナクテ困ル
ト云フコトニナツテハ大變デアリマスノデ、
其ノ點ニ付テハ十分注意ヲ致シテ參ル積リ
デアリマス

○櫻井委員長 東條君、マダ大分アリマス
カ

○東條委員 モウ濟ミマシタガ、先程委員
長ノ御話デハ、本日デ質問ヲ打切レ豫定ニ
ナツテ居ルサウデアリマスカラ、最後ニ極
ク簡單ニ一言ダケ鑛產局長ニ御伺シタイ、
先日ノ私ノ質問及ビ各委員諸君ノ御質問ニ
對スル御答辯ヲ承ツテ居リマスルト、試掘
權ノ問題ハ結局四年經テバ取消スノダ、斯
ウ言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、
威力サナケレバ著業スベキモノモ著業シナ
イ、ソコデ愚圖々々シテ居レバ權利ハナク
ナルノダト云フコトニシナケレバイカスノ
ダト云フヤウニ御考ヘニナリマシタノガ、
御提案ノ眞ノ御趣意ノヤウニ思ハレルノデ
アリマスガ、此ノ點ザツクバラシノ所ヲ伺
ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 此ノ鑛業法中改正法律案
ノ中デ、試掘權制度ニ關スルモノノ趣旨ハ、

本會議及ビ委員會デ御説明ニナリマシタ通
リデ、唯私共鑛業行政ヲ擔當シテ居ル者ト
致シマシテハ、兎ニ角試掘權制度ヲ此ノ儘
ニシテ置キマシテハ、二年先、三年先ノ目
途ガ立タナイ、如何ニ金ヲ積ンデモ、人ヲ
入レテモ兎ニ角試掘權者ニ一應ノ試掘ヲシ
貫ハナケレバ、最早大變ナコトガ起ルト覺
悟シナケレバナラス、斯ウ云フコトガ確ニ
此ノ法案提出ノ動機ノ有力ナモノデアルト
云フコトヲ申上ゲマス

○川俣委員 一寸關聯シテ……

○櫻井委員長 其ノ前ニ先程鑛產資材ノ問
題ガ出、又卯尾田君カラ發電設備ノ問題モ
出マシタガ、其ノ問題ノ内容ニハ資材ガ含
マレテ居リマス、ドウモ選鑛設備ヲスルモ
ノニモ資材、其ノ中デモ「セメント」ガナク
テ困ル、其ノ爲ニ全然選鑛設備モ出來ナイ
ト云フヤウナ例モ大分聽クノデアリマスカ
ラ、此ノ資材ノ問題ノ出タ機會ニ「セメン
ト」ニ關スル需給關係ガ現在ハドウナツテ
居ルカ、將來ノ見透シハドウカト云フコト
ヲ商工當局カラ茲ニ明ニサレタイノデアリ
マス、最近東京附近ノ鐵道工事ノ實例ヲ見
テモ、新ニ線路ヲ一本殖ヤス爲ニ、「ガー
ド」ノ工事ヲヤツテ居ツタガ、ソレガ途中
デ中止サレテ居ル、其ノ原因ハ何カト聽イ
テ見ルト、「セメント」ガ足ラナイカラデア
ル、鐵道ニ於テ然リトスレバ、鑛山ナドハ
幾多ノ數ニ互ツテ居ルカラ、尙更其ノ配給
ガ惡イノデハナイカト思ヒマス、「セメン
ト」ニ關スル現在ノ需給竝ニ將來ニ對スル
事ニ付テ一應ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○永田政府委員 只今「セメント」ノ需給狀
態ニ付テ話ヲシロト云フコトデアリマスガ

○櫻井委員長 其ノ前ニ先程鑛產資材ノ問
題ガ出、又卯尾田君カラ發電設備ノ問題モ
出マシタガ、其ノ問題ノ内容ニハ資材ガ含
マレテ居リマス、ドウモ選鑛設備ヲスルモ
ノニモ資材、其ノ中デモ「セメント」ガナク
テ困ル、其ノ爲ニ全然選鑛設備モ出來ナイ
ト云フヤウナ例モ大分聽クノデアリマスカ
ラ、此ノ資材ノ問題ノ出タ機會ニ「セメン
ト」ニ關スル需給關係ガ現在ハドウナツテ
居ルカ、將來ノ見透シハドウカト云フコト
ヲ商工當局カラ茲ニ明ニサレタイノデアリ
マス、最近東京附近ノ鐵道工事ノ實例ヲ見
テモ、新ニ線路ヲ一本殖ヤス爲ニ、「ガー
ド」ノ工事ヲヤツテ居ツタガ、ソレガ途中
デ中止サレテ居ル、其ノ原因ハ何カト聽イ
テ見ルト、「セメント」ガ足ラナイカラデア
ル、鐵道ニ於テ然リトスレバ、鑛山ナドハ
幾多ノ數ニ互ツテ居ルカラ、尙更其ノ配給
ガ惡イノデハナイカト思ヒマス、「セメン
ト」ニ關スル現在ノ需給竝ニ將來ニ對スル
事ニ付テ一應ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○永田政府委員 只今「セメント」ノ需給狀
態ニ付テ話ヲシロト云フコトデアリマスガ

ラ、簡單ニ申上ゲマス、御承知ノヤウニ「セメント」ハ設備ガ是マデ餘ツテ居リマシテ、此ノ夏頃マデハ六割短ト云フヤウナコトデ、需要ヲ充テシテ居ツタノデアリマス、所ガ昨年ノ十月カラ例ノ石炭ノ配給制限ガ行ハレマシテ、「セメント」ノ原料トシテノ石炭ニ付テモ制限ガ加ヘラレマシタ爲ニ、從來ノ六割制限ヲ六割八分制限マデ強化シナケレバナラヌト云フ状態ニナリマシタ、所ガソレニ反シテ需要ノ方ハ、最近ノ軍需並ニ生産力擴充其ノ他交通或ハ災害復舊等ノ必要カラ急激ニ増加致シマシテ、昨年ノ下半年ダケノ状態ヲ取リマスレバ、恐ラク需要量ニ對シテ供給ハ五割位シカ出來ナカツタノデハナイカト想像スルノデアリマス、尤モ昨年一箇年ヲ通ジマシテハ、大體八割見當ノ供給ハ出來テ居ツタと思ヒマスガ、ソレハ初メノ内ガ一〇〇％ニ供給サレテ居ツタ爲ニ、サウ云フ風ナ數字ニナツタ譯デアリマシテ、實際問題トシテハ、半分位シカ供給ガナカツタト云フ状態ダと思ヒマス、殊ニ御承知ノヤウニ「セメント」ノ會社ハ、九州カラ中國方面ニ多ク、東北、北海道ノ方ニ少イモノデアリマスカラ、東北カラ北海道ニ掛ケテハ、特ニ「セメント」ノ不足ガ痛切デアツタと思フノデゴザイマス、此ノ點ニ關シマシテ、政府ト致シマシテハ、極力其ノ原料ノ石炭ヲ増スコトヲ努力致シマシテ、昨年ノ十月カラ今年ノ三月マデノ半期分ニ付キマシテモ、最初ノ割當ヨリモ相當量ノ増加ヲ致シマシタ、併シソレデモ到底需要ヲ充テスニハ足りナイノデアリマスルノデ、此ノ四月以降ノ半期分ニ付テハ、相當大幅ナ増加ヲ致スベク、目下燃料局ト交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス、是ハマダ

最後ノ結論ニハ至ツテ居リマセヌケレドモ、私共トシテハ相當量ノ増加ヲ見込ミ得ルト信ジテ居ル次第ゴザイマス、斯ノ如クシテ生産ノ確保ヲ致シマスル一面ニ於キマシテ、配給ノ適正ヲ期サナケレバナラナイト考ヘマシテ、ヤハリ石炭ノ制限カラ「セメント」ノ供給不足ガ感ゼラレマシタ當時カラ、「セメント」業者ヲ説キマシテ、業者ニ依ル共販會社ヲ作ラセマシテ、之ニ依ツテ一元ノ配給ヲシテ行クト云フ方針ヲ執リマシテ、共販會社モ先月出來マシタノデ、此ノ三月二日ニ「セメント」配給統制規則ヲ公布致シマシテ、將來ハ此ノ規則ニ基キマシテ、必要ナ方面ニ「セメント」ヲ流シテ行クトガ出來ルヤウニナツタ次第ゴザイマス、隨テ鑛山方面ノ如ク生産力擴充ノ重要ナ方面ニ對シマシテハ、優先ノ配給ガ出來ルコトニナリマスノデ、將來ハ「セメント」ノ不足ト云フコトヲ、此ノ數箇月ノ如ク痛切ニ感ズルコトハナクナルモノト確信致シテ居リマス

○櫻井委員長 川崎君、モウ一ツ關聯質問ヲ御諒解願ヒマス——川侯君

○川侯委員 時間ガナイカラ簡單ニ坑木ノ問題ニ付テ伺ヒタイ、北海道ハ前々長官ノ石黒サンノ時代ニ各鑛業ノ方ハ坑木ヲ廻スヤウニ致シタ爲ニ、原木ノナイ内地方面ヨリ、寧ロ坑木ノ點ニ付テハ逼迫シテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、私共現地ニ參リマシテ、鑛業界及ビ石炭界ヲ見マシテモ、是ハ鑛業規格ノ上カラ言ツテモ甚ダ危險ナ状態ニアル程ニ質ノ低下ヲ來シテ居ル、鑛山界ニ於ケル坑木ノ質ノ低下ト云フコトハ、災害ニ非常ニ大キナ影響ヲ來シハシナイカ、北海道ノ保安、治安ノ上カラ言ツテ、

相當考慮シナケレバナラヌ事態デハナカラウカ、勿論坑木ノ値段ノ昂騰カラ業者ノ誠意ノ足ラザル點モアルカモ知レマセヌケレドモ、配給ノ不圓滑ガ質ノ低下ヲ來シテ、延イテ是ガ治安及ビ保安ノ上ニ影響ヲ來シマシタラバ、北海道ノ地下埋藏物ノ開發ノ上ニ非常ニ大キナ影響ヲ來スノデハナイカ、産業ノ上ニ、又治安ノ上ニ影響ヲ來スコトヲ惧レルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ篤ト御配慮願ヒタイト考ヘマスガ、之ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○戸塚政府委員 私モ専門家デナイカラ本ノ種類ガドウト云フコトハハツキリ分リマセヌガ、御話ノ點ハ十分注意ヲ致シマシテ、左様ナ心配ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、尤モ今申上ゲマシタヤウニ、十三年度ノ實績ト現在ノ狀況デハ、需要ノ方ガ餘程殖エテ參ツテ居リマスノデ、坑木モ今マデ使ツテ居ラヌ樹種ヲ用ヒテ居ルト云フ話モ聞イタコトガゴザイマスガ、サウ云フ不安ノナイヤウニ注意致シタイト思ヒマス

○川侯委員 規格所謂大キサト云フモノニ付テモ、相當低下シテ居ルヤウニ見受ケラレマス、此ノ質ノ低下ガ御存ジノヤウニ爆發ノ原因ニモナル、此ノ爆發ノ原因ハ單純デスカラ、此ノ單純ナコトカラ災害ヲ起スト云フコトハ、其ノ影響モ非常ニ大キイカラ十分御考慮願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員長 川侯君宜シウゴザイマス

○川侯委員 宜シウゴザイマス

○櫻井委員長 川崎君

○小金政府委員 鐵道ヲ敷設スル場合ニ於キマシテハ、ソレガ國有鐵道デアラナラバ、其ノ方面ノ手續ヲ執ルト思ヒマスガ、併シナガラ所謂私有鐵道又ハ軌道ト云フヤウナモノデアリマスレバ、其ノ方面ノ法規ノ命ズル手續ヲ執ツテ鐵道省ニ願出ルコト心得テ居リマス、其ノ場合ニ鑛區ノ上ニ線路ガ通ルト云フヤウナ時ニ於キマシテハ、只今ノ所商工省ニ相談ヲスルト云フヤウナ手續ハゴザイマセヌ

○川崎委員 其ノ法規ト云フノハ土地收用法ト思ヒマスガ、土地收用法ニ依ル不動産ナミニ鑛區主ハ受ケ得ルト思ヒマスガ、土地收用法ニ依ル手續ヲセズシテ——ヲカシナ話デスガ左様ナ事實ガアツタト假定シテ、サウ云フ時ニハ出直シテ來イト云フコトデ、鐵道ノ敷設ヲ中止サセルコトガ、鑛業ノ保護ノ爲ニ出來マセウカ、又ソレ位ノ熱意ヲ鑛産局ニ於テハ持ツテ居ラツシャルデセウカ

○小金政府委員 鑛業權ハ土地所有權トハ全然別個ノ獨立シタ權利デゴザイマスノデ、鑛業權ガ土地收用法ノ目的ニナルト考ヘラレマセヌ、鐵道ヲ敷設スル場合ニ於テ、商工省ガ鑛區ノ上ヲ通ル時ニ協議ヲ受ケルトカ、或ハ場合ニ依ツテハ其ノ鐵道ヲ曲ゲサセルト云フヤウナ權限ハ今ノ所ゴザイマセヌ、又法律ノ建前カラ解釋致シマシテ、公益ヲ害スルカドウカト云フ問題ニナルコトト存ジマス、此ノ鑛業ガ公益トドウ云フ關係ニ立ツカト云フコトニ付キマシテハ、具體的ニ其ノ各個ノ場合ニ付テ檢討スルヨリ外ナイト思ヒマス

○川崎委員 土地所有權ト申シマシタカラ

間違ヒマシタガ、鑛業法ノ十五條カニ鑛業權ハ物權ナリトアツテ、不動産ト同ジニ取扱フト云フ明文ガゴザイマスカラ、ソレニ依リマスト、土地收用法ノ第七條ノ適用ヲ鑛業權ニ對シテ出來ルト思ヒマス、七條ニ斯ウゴザイマス、本法ノ規定ハ水ノ使用ニ關スル權利」是ハ問題ガナイ「其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス」斯ウアリマス、鑛業權ハ其ノ土地ノ所有權デハナイノデスカラ、所有權ノ中ノモノヲ税金ヲ拂ツテ借區シテ居ル、所有權以外ノ權利ニ當ルモノデナイカト私ハ思フノゴザイマス、サウシマスト「收用又ハ使用ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス」ト云フ明文ガ七條ニゴザイマスカラ、土地收用法ニ依ル保護ヲ主張シ得ルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○小金政府委員 其ノ鑛業權ガ其ノ中ニ入ルカドウカト云フコトノ解釋ニ付テハ、私共マダ入ルノデアル、或ハ入ラナイノデアルト云フ十分確定シタ解釋ヲドウモ持兼ネテ居リマス、サウ云フ場合ニハ個々ノ具體的ノ場合ニ付テ、具體的ニ解決スルヨリ外ナイデアラウト思ヒマス

○川崎委員 ソレデハ此ノ點モ御考ノ決ツテ居ナイモノヲ無理ニ御伺シテモ如何ト思ヒマスカラ此ノ程度ニ止メマスガ、鑛業法ノ改正案三十一條ニ依リマスト「鑛業出願地他人ノ異種ノ鑛物ノ鑛區ト重複スル場合ニ於テ他人ノ鑛業ニ妨害アリト認メタルキハ其ノ妨害アリト認メタル部分ニ付テハ其ノ出願ヲ許可セス」斯様ナコトヲ特ニ設ケテ非常ニ鑛業權ヲ厚ク保護シテ下サルコトニナツテ居リマスカラ、私ノ積リデハ、土地收用法ノ七條ノ條文モアリマスシ、

今時節柄最モ必要ナ鑛區内デ、土地收用法ノ手續ヲ履マズシテ、サウシテ鐵道ヲ敷設スルノハ、是ハ鑛產物ノ採掘出願トハ違ヒマスケレドモ、ヤハリ時節柄非常ニ必要ナ採掘權ヲ妨害スルコトデゴザイマスカラ、此ノ重複シテ妨害スルモノト云フ明文ノ意味ニ副ウテ、サウシテ禁止スルヤウニシテ載キタイト私ハ希望致スノデアリマスガ、何カ御考ガアレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○小金政府委員 ソレハ鐵道ト一口ニ申シマシテモ、御説ノ中ニハ鐵道、軌道、或ハ其ノ他簡單ナ路線ヲ敷クモノモアルト存ジマス、各個々ノ場合ニ付キマシテ、其ノ豫定ノ線路ガ非常ニ重要ナ鑛物地帯ヲ通ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、鐵道省其ノ他ト出來ルダケ接觸ヲ保ツテ解決シテ參リタイト思ヒマス

○宮澤政府委員 今商工當局カラ御答辯ガアリマシタガ、鐵道省トシマシテモ、實際問題ニ付テ御指示ガアレバ別デゴザイマスガ、抽象的ニハ今御答致シ兼ネルノデアリマスガ、ヤハリ鑛區ノ採掘權ノ所有者ト能ク協議致シマシテ、鐵道ヲ架ケマス場合ニモ、兩方成ベク安全性ヲ害シナイヤウニ、而シテ採掘權ニモ煩ヒノナイヤウニシテ、サウシテ實際問題トシテハ能ク協議シテヤツテ行キタイモノダ、又從來モヤツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、サウナクテハナラスト思ツテ居リマス、鐵道ハ安全第一デアリマスカラ、之ニ聊カノ危險不安モ與ヘルヤウナコトガアツテハ相成ラヌノデアリマスカラ、若シ既設ノ線路ノ地下ガサウ云フ風ナ鑛區ニ入りマシタ場合、而シテソレヲ採掘シマス場合ニハ、何處マデモ其ノ安全性ヲ害シナイヤウニ採掘權者ニ處置ヲサシ

タ上デ之ヲ採掘セシムルト云フコトニナルデアラウト考ヘテ居リマス、又サウシタイモノト考ヘテ居リマス、尙ホ新シク鑛區ニ線路ヲ通シマス場合モ、ソレガアルカラト云ウテ必ズシモ線路ヲ迂迴サセヨウナドトハシマセヌデ、ヤハリ鑛區權者ト能ク協定致シマシテ、向フノ採掘權ニ色々ナ支障ヲ來サナイヤウニ、コウチモヤツテ行ク、斯ウナルデアラウト考ヘテ居リマス

○川崎委員 其ノ點ニ關スル兩當局者ノ御答辯ハ洵ニ満足致シマス、鐵道ノ方ハソレデ終リデス

最後ニ日本產金會社ノ營業振リニ付テ一ツ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、非常ニ時節柄有益ナ會社デ、之ヲ鞭撻シテ大イニ時局ノ急ヲ救ツテ貰ヒタイト云フコトデ、政府ガ提案セラレ、吾々贊成シタノデゴザイマスガ、實際營業ヲ始メテ見ルト、初メテデ不慣レノセイカ、或ハ馬鹿ニ用心スルカ致シマシテ、營業振リガ甚ダ遅タナデス、ソレデ私共實例モ持ツテ居リマスガ、金ヲ借リルコトヲ申込デカラ平均約二箇月半デ解決スル、一番長クテ六箇月ダ、斯ウ云フ表ガ出マシタ、是ハアナタ方ノ方カラ頂戴シテ居リマスガ、ドウモ實際ハ一年位掛ツテモ解決シナイノガアルヤウデアリマス、ソチカラ御提供ニナツタ材料ニ依リマシテモ、五百三十五件申込デノニ、貸付ケタノガ百七十七件ダ、ソレハ一年ト二箇月餘リ掛ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトデ甚ダ遅タシテ困ツテ居ル、ソレデ、此ノ遲イガ爲ニ、此ノ頃坑ノ中へ小サイ「レール」ヲ入レルノニ非常ニ骨ガ折レタ實例ガアル、ソレハ私ノ知ツテ居ル或ル鑛山主デ、エライ工面ヲシマシテ、ソレヲ手ニ入

レル約束ヲシテ、必要ナ長サダケ買フコトニシタ、サウシテ一方產金會社ノ方ヘマダカマダカト責メタガ、半年以上モ經ツテモ貸シテ呉レナイノデ、折角約束済デアツタ「レール」ヲ他ヘ賣ラレテシマツテ、後デ金ヲ貸シテ貰ツタ時ニハ、モウ品物が無いカラ駄目ダト云フヤウナ羽目ニ陥ツテ居ルノナドガアリマス、ソコデ、監督ヲ十分ニナサルノハ宜シイガ、餘リ楊枝デ掘ルヤウナ風ニ執務ヲサセルト一向效キ目ガナイノデス、何時カ農村ノ疲弊ノ時ニ勸銀ノ金ヲドツサリ貸サシテ、政府ガ最後ノ尻拭ヒヲ二億トカ三億トカシタコトガアリマス、高橋大藏大臣ノ時代デス、サウスルト、勸業銀行ヤ地方ノ農工銀行デハ、保證人ダ何ダト云フヤウナコトヲ喧シク言ツテ、ソレガ其ノ十分ノ一モ貸シ切レナクテ、詰リ其ノ政策ガ駄目ニナツタト云フコトガゴザイマスカラ、今度モ產金會社デ左様ナヤリ方ヲサレテハ困ルノデ、大イニ督促シテ時勢ノ急ニ應ズルヤウニ事務ヲ執ツテ戴キタイ、斯様ニ希望スルノデアリマスガ、左様ナ希望ヲ容レテ監督ヲナサル御意思ガアリマスヤ否ヤト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒマシテ、ソレデ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○小金政府委員 日本產金振興株式會社ノ營業振リニ付キマシテ御話ガアリマシタガ、只今例トシテ御舉ゲニナリマシタ日本產金振興株式會社ニ金融其ノ他ノ申込ヲ爲シテ、六箇月位ガ最長トナツテ居ルガ、一年二箇月モ掛ツタ實例ガアルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ實ハ非公式ニ御話ガアリマシテカラハ、六箇月以上ノモノモアルト思ヒマス、私ノ方ノ出シマシタ統計ハ、恐ラク正式ニ會社ガ書面其ノ他ノ受付ヲ爲

シテ、ソレカラ處理ノ終ルマデト云フ勘定ニナツテ居ルノデ、其ノ間實際上ノ交渉開始以來ハ、六箇月以上掛ツタモノモ相當アルト存ジマス、ソコヲ點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ又非常ニ其ノ處理ガ遅レルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ社長初メ重役職員ハ全部熱心ニ業務ニ當ツテ居ルノデアリマスガ、技師其ノ他ノ人員ノ不足モアリマス、又不足シテ居ルバカリデナク、不慣レノ爲ナドカラ隨分能率ガ惡イト云フヤウナ結果ガ出デ居ルト思ヒマス、ソコデ吾々ノ監督上ノ問題デアリマスガ、是ハ監理官制度ト云フヤウナモノガアツテ、會社ノ業務ニ付テ箸ノ上ゲ下シマデ喧シイコトヲ言フノデヤナイカ、斯ウ云フ風ナ見方ヲサレテ居ル向モ一面ニアリマス、併シナガラ、私ノ關スル限リニ於キマシテハ、日本産金振興會社ニシテモ、帝國鑛業開發會社ニ致シマシテモ、是ハソシナコトヲシタノデハ業績ガ擧ラナイ、殊ニ日本産金振興株式會社ノ業務振リニ付キマシテハ、寧ロコチラハ相當積極的ニ業務ヲ進メテ行クト云フコトニ付テ、サウ云フ方針デ進ンデ居リマス、サウシテ萬一間違ツタナラバ監理官ハ其ノ責任ヲ執ル積リデアリマス、決シテ消極的ナ干涉ガマシイコトハ致シテ居リマセス、若シ間違ツタラ責任ヲ取ル、唯責任ヲ取レバソレデ済ムト云フ考デハ毛頭アリマセスガ、サウ云フ心組デ臨ンデ居リマス、尙ホ今後ノ日本産金振興株式會社ノ營業振リノ改善トカ、或ハ其ノ處理ヲ促進スルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、十分意ヲ用ヒマシテ、決シテ此ノ會社設立ノ趣旨ニ遠ザカルト云フヤウナ結果ニナラナイヤウニ十分氣ヲ付ケマス、又其ノ

決心デ臨ンデ居リマス

○川崎委員 洵ニ御親切ナ御答辯デ有難ウゴザイマス、ソレデ事實ヲ述ベタイノデアリマスガ、ヤコシクナリマスシ、公ノ場所デハ相應シクナイト思ヒマスカラ略シマス、其ノ御決心ノ下ニヤツテ戴キタイト思ヒマス、丁度アナタノ局ノ渡邊事務官ニ度御督促申上ゲタリ、御繼リ申上ゲタリシテ、事務官ノ方モ板挾ミニナツテ困ツテ居ルト云フヤウナ歴々タル事實ガアルノデゴザイマスカラ、其ノ點ハ空談デハナイノデゴザイマスカラ、能ク御聽取リ願ヒマシテ、十分ニ時局ニ沿フヤウニ御監督御獎勵ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ是デ終リマス

○澤田委員 此ノ委員會ニハ現ニ付託サレタモノモアリ、是カラ又重要ナ案ガ來ルノデス、隨テ此ノ鑛業法ハ適當ノ機會ニ質問ヲ打切ツテ、最後ノ決定ヲセンケレバナラスト思フノデゴザイマス、尙ホ質問者ガ二人バカリ殘ツテ居リマスカラ、今日ハ此ノ程度デ打切ツテ、サウシテ明日開イテ、私共ノ考トシテハ大體明日三時頃マデ質問ヲ繼續シタイ、尙此ノ案ニ對シテハ質問者ヲ通ジテ考ヘテ見マシテモ、委員全體デ懇談シテ、サウシテ最後ニドウ云フ風ニスルカト云フコトヲ能ク協議スルコトハ、此ノ案ヲ審議スル上ニ適當ダト思ヒマスカラ、ドウカ委員長ニ於テ左様ニ御取計ヒヲ願ヒマス

○櫻井委員長 澤田君ノ御發議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○櫻井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ左様ニ決シマス、明日ハ午後一時ヨリ開

會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時三分散會